SHIZUOKA Association of Radiological Technological SHIZUOKA Southal of the SHIZUOKA Association of Radiological Technological Technological SHIZUOKA

SHIZUOKA

O · U · R · N · A · L

Vol. 34 No. 2 2024 (通巻221号)

巻頭言	「変化と成長を求められる昨今について」 副会長(東部)平入 哲也 …	1
会告	第29回 静岡県放射線技師学術大会	
	第29回 静岡県放射線技師学術大会演題募集演題区分表	2
	・ 演題 P 分表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	3 4
	第18回医療安全セミナー(MRI検査の安全対策)(12/6) ·······	5
	新春公開講演、アール祭(1/11) 第55回放射線技師のためのセミナー・第12回放射線管理士セミナー(1/18) …	6
	第55回放射線技師のためのセミナー・第12回放射線管理士セミナー(1/18) · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	8
	令和6年度第7、8回告示研修(実技研修)(1/25~1/26) 第1回キャリア支援委員会研修会(2/1)	9
	第1回キャリア支援委員会研修会(2/1) 第65回東海四県診療放射線技師学術大会(岐阜県)(2/16)	12
	令和 6 年度静岡県放射線技師研修会(3/1) 第20回静岡県MRI技術研究会(3/15)	13
	第20回	14
報告	令和6年度第1、2回告示研修(実技研修)(6/22~23)	16
	令和6年度第1、2回告示研修(実技研修)(6/22~23) 第53回放射線技師のためのセミナー(7/13) 令和6年度第3、4回告示研修(実技研修)(7/27~28) 令和6年度静岡県知事褒賞授与式(7/29)	17
	令和 6 年度第 3 、 4 回告示研修(実技研修)(7/27~28) ······· 今和 6 年度整图具知真褒賞授与式(7/20)	18 19
	日本医療マネジメント学会第29回静岡県支部学術集会(8/10)	20
	第83 同超音波部会研修会(9/7) ····································	22
	第14回フレッシャーズセミナー(9/8)	23
	第42回静岡ふれあい広場(9/8)	24 25
		20
学術論文	第53回放射線技師のためのセミナー(7/13)	26
	第53回放射線技師のためのセミナー(7/13) 第83回超音波部会研修会(9/7) 第40回乳腺画像部会研修会(9/14)	29 33
		33
連載企画	突撃!となりの放射線科	37
J b. 3	ブボード ·····	42
		42
本会の歩み	y	48
本会への答	手贈図書	50
議事録	令和6年度 第2回理事会議事録(8/24)	52
に由マウュ	1 \ / H	01



『変化と成長を求められる昨今に ついて』

(公社)静岡県放射線技師会 副会長(東部) 平入 哲也

みなさま告示研修は受講完了しましたでしょうか?「進展」「変革」「革新」これらはすべて、ここ1、2年の技師会、技術学会のテーマに挙げられている単語です。「革新」に至っては3回も使われています。「革新・・新たにあらためる、既存の物をより適切と思われることに変更すること」との事。とかく現在のわれわれ診療放射線技師は変わることを求められ、それに追い立てられる日々を送っています。日常業務やプライベートで抱える問題、そこに更に告示研修を始めとした新しい学びと変化が求められ、中々にハードな毎日だなあと感じる今日この頃なのです。

そんな折、静岡県診療放射線技師会のホー ムページで過去(1968年)の技師会誌を拝見 しました。X線技師から新たに診療放射線技 師資格が出来上がった当時のものです。紙面 では、X線技師と診療放射線技師の分断を憂 う声や新しい資格に向けて頑張ろうという前 向きな声が掲載されており、当時の混乱と希 望が伝わってきます。振り返って考えてみま すと、我々診療放射線技師は、数年前には統 一講習会を受けねばならなかったり、専門資 格がたくさん出てきて勉強しないといけな かったり、更に遡れば4年生大学が出来上が りこれからは学位も取らないと、とか言われ たり。結局私たちは常に変化を求められ、新 しい学びを要求されいつも大変なのです。大 変がデフォルトなのです。

という事で、どうせ変わらなければならないのであれば変化と成長を前向きに捉えた方が良いのではないでしょうか。どうせ人間変

われないから、と悟った感じで面倒な事に背を向けていてもまわりはどんどん前に進んでしまいます。かくいう私も本年4月より静岡県放射線技師会災害対策委員長を拝命し、放射線災害対応の勉強を1から始めているところです。主観ではありますが、新しい知識を得る事はとても楽しく、また少しだけましな人間に成長出来た気がします。

新しい知識を得る事は変化と成長を意味し、いままで見えた世界と違うものを見せてくれます。例えば告示研修を受ける事で今まで行わなかった業務を行う。例えば知らなかった画像所見を知ることで画像の見方がいままでと変わる。例えば新しい撮影法を勉強してきて日常業務に取り入れる等々。資格を得たり新しい仕事をおばえたり何でも良いと思います。

昔から「上善水の如し(老子)」「兵に常勢無く、水に常形無し(孫子)」と環境に合わせて変化していくことの重要性を伝える格言も多くあります。我々診療放射線技師も環境に合わせて少しずつ変化、成長していきたいものです。最後になりますが「人間にとって最高の幸福は、一年の終わりにおける自己を、その一年の始めにおける自己よりもはるかに良くなったと感ずることである(トルストイ)」という言葉もあります。もし一年の始まりの自分と較べ何も変わっていないと感じる方がいたら、変化と成長のために何か始めてみても良いのではないでしょうか。例えば告示研修を受講してみるとか。いかがでしょう。

『第29回静岡県放射線技師学術大会 演題募集』

2025年5月25日(日) に、第14回(公社) 静岡県放射線技師会定時総会及び第29回静岡県放射線技師学術大会を開催いたします。

開催にあたり、本学術大会において研究発表演題を下記により募集いたします。今まで学術発表の経験がない方や若手技師の方、大歓迎です。学術大会での演題発表の経験は必ず糧になります。多数の演題をお寄せくださいますようご案内申し上げます。

記

【日 時】 2025年5月25日(日)

【会 場】 掛川グランドホテル

〒436-0028 静岡県掛川市亀の甲1-3-1

電話: 0537-23-3333

【発表形式】 ① 口述発表 発表時間 7分 討論 3分

② 液晶プロジェクターを使用したPCプレゼンテーション (Windows用Microsoft Office Power Point 2021) を基本とします。

【発表資格】 会員および賛助会員 但し、令和6年度会費完納者(共同発表者も)

【応募方法】 静放技ホームページ(http://shizuhogi.jp)にて演題申込書をダウンロードしてください。必要事項を記入したうえで、電子メールに添付し、件名に「演題申込」と明記して下記アドレスまで送信してください。

演題申込メールアドレス:<u>endai.entry@shizuhogi.jp</u>

【受理通知】 演題受理の通知を、申込みメールアドレスに返信します。申込み後7日を経過 しても通知のない場合は、通信トラブル等考えられますので、お問い合わせく ださい。なお、演題採用者には後日抄録集の作成に協力いただきます。

【締め切り】 2025年1月26日(日) 必着

【申込先(お問い合わせ)】

₹420-0839

静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

(公社) 静岡県放射線技師会 TEL 054-251-5954

FAX 054-251-9690

演題区分表

演題主区分		区分番号	区 分 内 容
X 線	撮影	A	単純・造影・断層撮影技術 アンギオ・DSA・FPD撮影技術 機器、画像処理技術、補助具 品質管理、画像評価 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
X 線	СТ	В	C T 撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
M R	Ι	С	MRI撮影・処理技術 機器、画像処理技術、補助具、品質管理 造影剤、画像評価、臨床応用、その他
核医	学	D	インビトロ(試料測定一般) インビボ(体外測定一般) 機器、画像処理技術、品質管理 放射性医薬品、臨床応用、その他
放射線	治療	E	治療計画・照合・計測、照射技術 機器、補助具、品質管理 ラジオサージェリー、小線源照射、温熱療法 その他
超音	波	F	検査技術一般、臨床応用 機器、品質管理、その他
その他(の検査	G	骨塩定量検査・機器 体外衝撃波結石破砕装置、眼底撮影、その他
放 射 線	管 理	Н	放射線管理一般、法令 被曝防護、特性・遮蔽計算その他
画像	情 報	I	画像解析、画像評価、画像処理技術 HIS-RIS、PACS画像通信・保存、読影システム その他
情報管理	里・運営	J	読影補助、業務統計処理、人材育成 マネジメント、医療経営、広報、その他
ペーシェン	ノトケア	K	
感染	対 策	L	

第29回 静岡県放射線技師学術大会

演題申込用紙 (2025年1月26日(日)必着)

演 題 名	() 演題区分表参照		
	所属施設・部署	会員番号(必須)	氏 名 (フリガナ)
発表者			
共同発表者			
演 題 予 稿 原 稿 (400字程度)			
代表者連絡先	氏 名 住 所 〒 所 属 TEL (内線) E-mail	FAX	
通信欄			

※ご記入内容は予稿集の作成データとなります。お間違えのないようにお願いいたします。

送付先 E-MAIL: endai.entry@shizuhogi.jp TEL: 054-251-5954

『第18回医療安全セミナー(MRI検査の安全対策)』

第18回医療安全セミナーのテーマは、『MRI検査の安全対策』と致しました。 講演1では『おさえておきたいMRI検査安全対策の基礎知識』と題しまして、静岡済生会総合病院山崎技師より、「普段MRIに携わらない人にも知っていてほしい安全対策の基礎知識」を講演して頂きます。そして施設発表では静岡県内大規模施設、中小規模施設、それぞれの取り組みやインシデント等を紹介していただき知見を共有させていただきます。施設の規模やその他の事情が異なることから、それぞれの取り組みが参考になるものと思います。また、各施設で取組んでいる安全対策の注意喚起の工夫やシミュレーションなどにも触れて頂きますのでこういった面からもご自身の施設へ持ち帰り安全対策に役立てて頂ける内容になっております。また、今回は平日のイブニングセミナーとして企画しましたので是非多くの方のご参加をお願い申し上げます。

記

【日 時】 2024年12月6日(金) 19:00~20:30

【場 所】 Web開催(ZOOMミーティング)

【参加費】 無料(申込多数の場合、先着順となります)

【申し込み】 静岡県放射線技師会ホームページの会告・セミナーの参加申し込みフォームよりお申し込みください。申込期間2024年12月5日まで。https://shizuhogi.jp/

【注意事項】 静岡県放射線技師会HPの会告・セミナーの参加者用簡易マニュアルをご参照ください。

【プログラム】

18:50 ZOOM入室可能

 $19:00\sim19:30$

● 講演1『おさえておきたいMRI検査安全対策の基礎知識』

~普段MRIに携わらない人にも知っていてほしい安全対策の基礎知識~

静岡済生会総合病院 山崎 敬之 技師

 $19:30\sim20:30$

● 施設発表『MRIの安全対策への各施設の取り組み』

▶ 下田メディカルセンター 西宮 秀一 会員

▶ 富士宮市立病院 清 広和 会員

▶ 聖隷浜松病院 平野 稔幸 会員

セミナーに関わる著作権、商標権などの知的財産権その他の権利を侵害するような行為およびデータの撮影、録音、その他の不正利用を固く禁じます。

✓ 本セミナーは、日本診療放射線技師会 生涯教育ポイントの対象となります。

公益社団法人 静岡県放射線技師会 医療安全推進委員会 【問い合わせ先】 医療安全推進委員長 中村 英明 静岡済生会総合病院 放射線技術科 054-285-6171

『新春公開講演会開催』

新春公開講演会を下記の通り開催致します。

公開講演では、地震と災害医療に関するお話しをいただきます。今年1月に発生した能登 半島地震は記憶に新しいところです。ちょうど1年が経過するこの機会に、実際に被災地で DMATとして活動された医師からご講演をいただき、災害への備えや災害が発生した場合 の対処方法について、県民の皆さんと一緒に学んでいきます。また、教育講演では、県内の 診療放射線技師の資質向上を目的に、日本X線CT専門技師認定機構代表理事をお務めにな る講師から認定制度についてのご講演をいただきます。

つきましては、ご家族やご近所様、職場の方など皆様お誘い合わせの上、多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

記

【日 時】 令和7年1月11日(土) 13:30~16:10

【会 場】 静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 2 階 大会議室 (Hybrid開催)

〒422-8063静岡市駿河区馬渕1丁目17-1

TEL: 054-255-8440

【申込方法】 WEB参加ご希望の方は事前申込制となります。(公社) 静岡県放射線技師会

ホームページまたは、QRコードよりお申し込みください。

申込完了後、案内をメールさせていただきます。

【申込期間】 令和6年12月2日(月)~令和7年1月10日(金)

【内容】

13:30~ 受付

13:55~14:00 会長挨拶 14:00~15:00 公開講演

『令和6年能登半島地震と災害医療』

講師:中東遠総合医療センター

院長補佐 兼 救命救急センター長 松島 暁 先生

座長:静岡県立総合病院 中川 英紀 会員

15:00~15:10 休憩 15:10~16:10 教育講演

『診療放射線技師の認定制度 ~認定制度は必要か?~』

講師:静岡医療科学専門大学校

医学放射線学科アドバイザー 井田 義宏 会員

座長:富士市立中央病院 澤口 信孝 会員

※講演会終了後、親睦会 $(r - \nu$ 祭) が開催されます。詳細につきましては別紙会告にてご確認ください。

*技師会員はIDカードをご持参ください。

『第31回アール祭開催』

新春公開講演会終了後、会場を第一ホテルに移し、令和7年アール祭を開催いたします。 一年のスタートにあたり皆様の更なるご活躍を祈念すると共に、相互の親睦の場としたい と思っております。また、今回は疋野奈央子会員の知事褒章受章祝賀会も同時開催致します ので、多数の皆様の参加をお願いいたします。参加される方は、静岡県放射線技師会ホーム ページの会告・セミナーの参加申込みフォームより申込み下さい。

記

【日 時】 令和7年1月11日(土) 17:00~19:00 (受付16:30~)

【会 場】 静岡第一ホテル 2階 富士の間 〒422-8066 静岡県静岡市駿河区泉町1-21 Tel:054-281-2131 *ご来場の際は、できる限り公共交通機関をご利用ください。

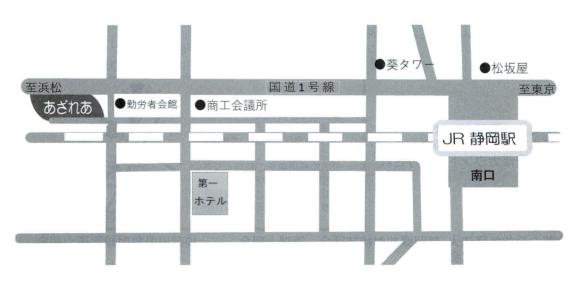
【内容】 第31回アール祭(祝賀会)

【会 費】 正会員 6,000円 非会員 6,000円

【申込み】 http://shizuhogi.jp/i/seminar.html

申込期限:令和6年12月18日





『第55回放射線技師のためのセミナー・ 第12回放射線管理士セミナー コラボセミナー』開催のご案内

今回は神奈川県放射線管理士部会と共催し、コラボセミナーを開催します。テーマは「原子力災害発生時の対応とスクリーニング」です。神奈川県では、「原子力災害支援者」の認定制度を設け、災害発生時に迅速な対応ができる体制を構築しています。また、県と県技師会で協定を結び、連携を取っています。神奈川県での取り組みを学ぶとともに、セグメント法を用いたスクリーニング実習を通して、避難退域時検査でのスクリーニング方法を学びましょう。本セミナーは会場型開催およびWEB配信のHybrid型で開催致します。静岡県・神奈川県の皆様の御参加をお待ちしております。

記

【日 時】 令和7年1月18日(土) 14時00分~17時15分

【会 場】 静岡市立静岡病院 西館12階講堂(静岡市葵区追手町10番93号)

および Zoom Network Meeting (Web配信)

【参加費】 会員・非会員:500円(事前オンライン決済)

【申込方法】 静岡県放射線技師会ホームページ「セミナーの参加申込フォーム」

もしくは右のQRコードよりお申し込みください

【内容】

14:05~15:05 部会活動報告

「神奈川県放射線管理士部会 活動報告」 神奈川県放射線管理士部会 会長

「静岡県放射線技師会管理士部会 活動報告|

护问导放射線技即云官建工部云 佔期報音」

静岡県放射線技師会 管理士部会 部会長

15:15~15:45 災害対策講演

「原子力災害および大規模自然災害時における診療放射線技師の役割」 ~ビックレスキューかながわに参加して~

神奈川県放射線技師会 災害対策委員会 委員長 吉田 篤史

15:55~17:10 実習&解説

「セグメント法を用いたスクリーニングと甲状腺簡易スクリーニング検査」

神奈川県放射線管理士部会 一同

宮内

千葉

敦由

和宏

セミナー受講者には、 日本診療放射線技師会 学術研修カウントが付与され ます

会場のご案内

静岡市立静岡病院 西館12階講堂 (静岡市葵区追手町10番93号)

公共交通機関をご利用ください (病院駐車場は有料です)

- 員JR静岡駅(北口)徒歩15分
- 員静岡鉄道新静岡駅徒歩10分



共催:公益社団法人 静岡県放射線技師会 管理士部会 / 神奈川県放射線管理士部会

協賛:アロカ株式会社

『令和6年度 第7回告示研修(実技研修)』

医師のタスク・シフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修(以下、告示研修という)を受けることが義務付けられ、この研修は日本診療放射線技師会が実施いたします。告示研修は、基礎研修(e-ラーニング形式)と実技研修(会場型)から成ります。静岡県では基礎研修(e-ラーニング形式)を修了した方を対象とした実技研修を下記の通り開催いたします。

記

【日 時】 令和7年1月25日(土曜日)

【場 所】 静岡県立総合病院 先端医学棟5F 講義室

〒420-8527 静岡市葵区北安東4丁目27番1号

【受講料】 会員:10,000円 非会員:20,000円

【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART情報システム内のメニュー

「牛涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。

(JART情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です)

※11月23日より受付開始。(業務拡大に伴う統一講習会修了者は11月16日 より可能)

【内 容】 8:40~8:50 受付

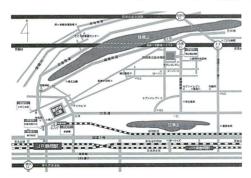
8:50~9:00 開講式 9:00~12:30 動画視聴

(静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管)

12:30~13:10 昼休憩 13:10~17:30 実技研修

(静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管)

17:30~17:40 閉講式



【JR静岡駅から】

バスで約25分 (5番、10番乗場) タクシーで約15分

駐車場は北側立体駐車場にお願いします。

生涯教育委員

『令和6年度 第8回告示研修(実技研修)』

医師のタスク・シフト/シェアを推進することから、診療放射線技師の業務を拡大するための法改正が行われました。これにより、診療放射線技師の資格を有する者は、厚生労働大臣が指定する研修(以下、告示研修という)を受けることが義務付けられ、この研修は日本診療放射線技師会が実施いたします。告示研修は、基礎研修(e-ラーニング形式)と実技研修(会場型)から成ります。静岡県では基礎研修(e-ラーニング形式)を修了した方を対象とした実技研修を下記の通り開催いたします。

記

【日 時】 令和7年1月26日(日曜日)

【場 所】 静岡県立総合病院 先端医学棟2Fメディカルスキルアップセンター

〒420-8527 静岡市葵区北安東4丁目27番1号

【受 講 料】 会員:10,000円 非会員:20,000円

【お申し込み】 日本診療放射線技師会ホームページ、JART情報システム内のメニュー

「生涯学習」イベント参加申込みから申込み下さい。

(JART情報システムは会員、非会員を問わず登録可能です)

※11月24日より受付開始。(業務拡大に伴う統一講習会修了者は11月17日 より可能)

【内 容】 8:40~8:50 受付

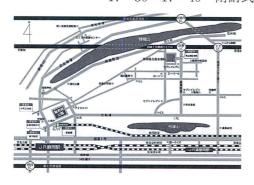
8:50~9:00 開講式 9:00~12:30 動画視聴

(静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管)

12:30~13:10 昼休憩 13:10~17:30 実技研修

(静脈路確保、RI検査、動脈路に接続する行為、下部消化管、上部消化管)

17:30~17:40 閉講式



【JR静岡駅から】

バスで約25分 (5番、10番乗場) タクシーで約15分

駐車場は北側立体駐車場にお願いします。

生涯教育委員

『第1回キャリア支援委員会研修会』

キャリア支援委員会では、第1回キャリア支援委員会研修会を以下の内容で開催いたします。

『人を育てる』をテーマに、タスクシフトと世代間コミュニケーションの2つのトピックに焦点を当てています。タスクシフトは、導入から短期間の施設から数年経過している施設まで県内の3施設にご発表いただき、OJTなどの教育や施設運用を教えていただきます。また、講演では臨床心理士の先生をお招きし、教育現場で教える側と教わる側の双方に役立つスキルとして、世代間コミュニケーションを主軸としたアンガーマネジメントについてお話しいただきます。ご多用中とは存じますが、多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

記

【日 時】 2025年2月1日(土) 14:00~16:00 (受付13:40~)

【場 所】 Web開催(今回の研修会はzoomでの開催となります。)

【事前申し込み】 2024年12月頃から開始予定(詳細は技師会HPをご覧ください)

【参加費】 無料

【内容】 13:40 受付開始 開会の挨拶

14:00 会員発表『タスクシフトの教育・トレーニング、運用について(仮)』

静岡市立清水病院 小林瞭太郎 会員

藤枝市立総合病院 外岡慎一郎 会員

静岡市立静岡病院 増田 秀道 会員

15:15 休憩

15:20 講演『世代間の理解とコミュニケーションに向けて(仮)』

藤田医科大学 医学部 医療コミュニケーション

藤江理恵子 臨床心理士

16:00 閉会

詳細が決まり次第、静岡県技師会のHPにて発表させていただきます。

『第65回東海四県診療放射線技師学術大会』

2025年2月に岐阜県で「第65回東海四県診療放射線技師学術大会」を下記の通り開催いたします。大会テーマは「多様性から広がる診療放射線技師の未来」です。講演を聞くことで「診療放射線技師の未来」について触れることができ、考えることができる大会となっております。会員発表、特別講演、ランチョンセミナー、基調講演にシンポジウムと多様な形式で多くの企画がラインナップされております。是非、多くの会員の参加をお願いいたします。

記

【日 時】 2025年2月16日(日) 9:30~16:00

【場 所】 じゅうろくプラザ

(岐阜市文化産業交流センター) 岐阜県岐阜市橋本町1-10-11

TEL: 058-262-0150

【当番県】 公益社団法人 岐阜県診療放射線技師会

東海四県診療放射線技師学術大会実行委員会

【参加費】 会員 2.000円 非会員 4.000円

学生無料(学生証提示、社会人学生除く)

※事前参加登録者のみ、ランチョンセミナーのお弁当を準備いたします。

【内容】 9:30~9:45 レントゲン祭

10:10~10:50 会員発表「日常に役立つ!?知識について」 各県より

放射線被ばく相談についての取り組み

ワークステーション最近の話題 (手術支援に役立つ3D画像)

救急撮影と読影 (STAT画像) の現状について

能登半島地震 災害派遣を経験して

10:50~11:20 ミニレクチャー「臨床検査技師に今ちょっと聞いてみたいこと」

11:25~11:55 教育講演「『核医学の最近の話題(検査から治療まで)仮』

岐阜県医療科学大学放射線技術学科准教授 北 章延 先生

12:15~12:45 ランチョンセミナー 未定

13:00~13:55 特別講演 未定

14:10~15:50 シンポジウム「疾患の発見から治療まで」 各県より

CT MRI US 消化管撮影 (口腔・食道~結腸)

※プログラム、内容については変更することもございます。

※日本診療放射線技師会学術研修カウントの付与がございます。会員証をご持参ください。

※会場型での開催となります。

『令和6年度静岡県放射線技師研修会』

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、下記の通り「令和6年度静岡県放射線技師研修会」を開催致します。今回は『医療DX』をテーマとしました。近年、注目を集める医療DXに焦点をあて、放射線診療だけでなく病院として、サービスの効率化・質の向上・シームレスな医療のための技術等を皆様と研修したいと考えています。今回は、より多くの皆様にご参加いただけるようwebのみの開催を予定しております。皆様お誘い合わせの上ご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

【日 時】 令和6年3月1日 13:00~16:00

【場 所】 WEB開催 (県技師会事務所発信)

【参加費】無料 ※事前参加登録制 定員100名(先着順)

【事前申込】 令和7年1月20日(月) ~ 令和7年2月21日(金)

※申込締め切り後の登録につきましては、企画調査委員会までメールにてご連絡ください。

企画調査メールアドレス: kikaku@shizuhogi.jp 嶋崎宛まで

【申込方法】 今回の研修会は、ZOOMによるWEB開催となります。

静岡県放射線技師会ホームページ、セミナー参加申込フォームよりお申込みください。

【内 容】

受付開始 13:30~

講演 1 メーカー講演「医療DXと人工知能の画像診断への関わり」 $13:50 \sim 14:50$

講師 キヤノンメディカルシステムズ「画像診断から情報診断へ Abierto Cockpit」(仮) 富士フイルムメディカル「読影支援ビューワーSYNAPSE VINCENTと画像 診断装置のDL」(仮)

講演 2 「医療DX導入実践報告」(仮) 15:00 ~ 16:00

講師 中東遠医療センター 院長補佐 松嶋 暁 先生

閉 会 16:00

・当研修会は日本放射線会学術研修ポイント対象研修となります。

公益社団法人静岡県放射線技師会企画調査委員会

『第20回静岡県MRI技術研究会 開催案内』

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、下記の通り「第20回静岡県MRI技術研究会」を開催致します。今回は『MRIにおけるAI活用と安全管理の最前線』をテーマとし、昨今、臨床機にも搭載されつつあるAIの使用経験についての発表、および検査に関するリスク管理について講演して頂きます。今回もハイブリッド開催を予定しております。本会が活発な病院間交流の場となりますよう、皆様お誘い合わせの上ご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

【日 時】 令和7年3月15日(土) 14:00~17:00 (受付開始:13:30~)

【場 所】 静岡パルシェ7F 第1会議室(JR静岡駅ビル内) 現地+Web配信 Hybrid開催 〒421-0851 静岡市葵区黒金町49(054-252-2202)*公共交通機関をご利用ください。

【参加費】 500円

【内 容】

1. 会員発表

演者未定 GE・PHILIPS・SIEMENS社製MRI装置を使用施設より30分×3演題 を予定

2. 特別公演 (60分)

『放射線部・造影剤のリスクマネジメントについて (仮)』

- ※本会は、日本診療放射線技師会 生涯教育ポイントの対象となります。
- ※本会は、日本磁気共鳴専門技術者認定機構の認定研究会です(更新点数5単位)。

(ポイント取得を希望される方は別途RacNeでの参加登録が必要となります。)

※本会は、日本救急撮影認定機構の認定講習会です(2単位)。

(公社) 静岡県放射線技師会MRI部会/ゲルベ・ジャパン株式会社

以上

おわび

「しずおかジャーナルVol.34 No.1 2024 (通巻220号)」(令和6年7月26日発行) において記載内容に誤りがありました。謹んでお詫びいたしますとともに以下のとおり訂正いたします。

21ページ「新役員挨拶|

- 誤)アンギオ部会長 小田 雄三
- 正) アンギオ部会長 小田 幸佑

36~41ページの学術論文「第39回乳腺画像部会 第82回超音波部会合同研修会」

- 誤) 乳腺エコー
- 正) 乳腺超音波

「乳腺エコー」⇒「乳腺超音波」に変更した形になります。乳癌学会や日本乳腺甲状腺超音波医学会でも「乳腺超音波」という言い方に変更、統一されております。 乳腺画像部会として、正しい情報を伝え広めるためにも修正いたします。

ご迷惑をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

令和6年度第1、2回告示研修(実技研修) 報告

 \overline{a}_{a} and a_{a} and a_{b} and a_{b}

令和6年6月22日23日 静岡県立総合病院

令和6年度第1、2回告示研修(実技研修)を 令和6年6月22日23日の2日間にわたり、静岡県 立総合病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査 技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令 等の公布について」が厚生労働省医政局長より発 出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が 行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入 装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動 脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確 保のためのものを除く。) 及び造影剤を投与する ために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下 部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテル から注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④ 上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテー テルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の 注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行 為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品 を投与するための装置を接続する行為、当該放射 性医薬品を投与するために当該装置を操作する行 為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に 抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行う ための絶対条件として、医療の安全を担保するこ とが求められています。そのため、日本診療放射 線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知 識、技能、態度を習得することを目標とした研修 を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講 者数は6月22日が46名、6月23日は45名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査のために、放射性医薬品を注入するための装置を接続し、装置を操作する行為を40分。3. 動脈に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤注入装置を操作する行為を投与するために造影剤注入装置を操作する行為を60分。4. 下部消化管検査(CTコロノグラフィ検査を含む。)のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用いた静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核医学及び静脈(CT)実技の実習に入りました。ファシリテータ8名のもと、受講生を6チーム(A~F)に分割し、2名1組として1チーム8名4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師からチェックが入りその場で指導を受けており、シミュレーション通りに終えないので刺激がある実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備してファシリテータ4名が講師となり、1ブース4名2組で清潔役、補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造影剤注入装置に接続する行為について、講師からのデモンストレーション後に順次手順に沿って各人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をしてファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。下部消化管は肛門からカテーテルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより造影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュレーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈(CT実技)では、各4ブースを準備してファシリテータ2名が講師となり、1ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師よりその都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ受講が義務付けられています。追加された行為を診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施設の考え方によります。いつ何時、実施するように依頼されても良いように準備しておくことがこの研修会に参加する意義だと思います。この研修会をベースに、更に各施設において教育、研修を行い安全、安心な医療を提供するようにお願いしたいと思います。

生涯教育委員 曽我 隆正

令和6年7月13日(土)に「第53回放射線技師 のためのセミナー | を静岡市立静岡病院西館12階 講堂にて会場型 + Web配信のHybrid形式にて開 催致しました。

テーマは「放射線取扱主任者業務と放射線被ば く管理に関する労働安全衛生マネジメントシステ ム(以下MS) とし、放射線取扱主任者同士の情 報交換・情報共有、放射線従事者の被ばく管理や MSについて学ぶ機会になればと思い、セミナー を開催しました。

セミナー申込の際に行ったアンケート調査(回 答数90名) では、令和5年のRI法施行規則一部 改正について知っている人は81%、MSを知って いる人は57%となりました。

企業講演では、長瀬ランダウア株式会社より RI法施行規則一部改正の概要と眼の水晶体等価 線量限度引き下げについてご講演頂きました。外 部被ばくによる線量測定の信頼性の確保、各種線 量測定に用いる線量計の点検および校正について、 法改正の概要を詳しくご教示いただきました。

会員発表では、「放射線取扱主任者業務と放射 線MS | をテーマに3施設の会員よりご発表いた だきました。順天堂大学医学部附属静岡病院の小 野直人会員からは自施設での放射線取扱主任者業 務についてご紹介いただきました。毎年行わなけ ればならない教育訓練や放射線管理状況報告に加 え、装置更新に伴う申請、新棟建設に伴う変更手 続き等についてご教示いただきました。藤枝市立 総合病院の河井淑裕会員からは令和5年のRI法 施行規則一部改正に伴う予防規程改訂と書類作成 時のポイントをご教示いただきました。放射線管 理は主任者に任せるのではなく、主任者の指揮の 下、みんなで管理業務を行わなければならないと 共感しました。聖隷三方原病院の鈴木千晶会員か らは、放射線MSの取り組みについてご発表いた だきました。放射線MS研修で行われるリスクア セスメントについて、リスクを点数化し、リスク レベルに基づいて防護衣の種類や線量計の個数を 決定し管理を行っているとご報告いただきました。 またCT検査時の介助や患者保持の際の眼の水晶 体防護の重要性をご教示いただきました。

特別講演では、帝京大学医療技術学部診療放射 線学科教授で日本診療放射線技師会副会長の富田 博信先生より、「放射線MSの紹介と今後の展望」 をテーマにご講演いただきました。放射線MS支 援事業が開始された背景や眼の水晶体等価線量限 度引き下げに関する事項、富田先生の施設である 済牛会川口総合病院での取り組みについてご教示 いただきました。個人被ばく線量計の着用や防護 衣・防護眼鏡の着用について、診療放射線技師が 率先して指導していくことが重要であると感じま した。



本セミナーは、会場参加35名、WEB参加55名 の計90名(静放技会員54名、その他36名)の方に ご参加頂きました。ご参加・ご講演頂いた皆様、 またHvbrid開催にご尽力頂きました関係の皆様 に厚く御礼申し上げます。今後も皆様の業務の一 助となるようなセミナーを開催していていきたい と思います。

管理士部会 千葉 和宏

令和6年度第3、4回告示研修(実技研修) 報告 令和6年7月27日28日 静岡県立総合病院

令和6年度第3、4回告示研修(実技研修)を 令和6年7月27日28日の2日間にわたり、静岡県 立総合病院にて開催しました。

令和3年7月9日医政発0709第7号「臨床検査 技師等に関する法律施行令の一部を改正する政令 等の公布について」が厚生労働省医政局長より発 出され、診療放射線技師の業務範囲の見直し等が 行われました。具体的には①静脈路に造影剤注入 装置を接続する際に静脈路を確保する行為、②動 脈路に造影剤注入装置を接続する行為(動脈路確 保のためのものを除く。) 及び造影剤を投与する ために当該造影剤注入装置を操作する行為、③下 部消化管検査のために肛門に挿入したカテーテル から注入した造影剤及び空気を吸引する行為、④ 上部消化管検査のために鼻腔に挿入されたカテー テルから造影剤を注入する行為及び当該造影剤の 注入が終了した後に当該カテーテルを抜去する行 為、⑤核医学検査のために静脈路に放射性医薬品 を投与するための装置を接続する行為、当該放射 性医薬品を投与するために当該装置を操作する行 為並びに当該放射性医薬品の投与が終了した後に 抜針及び止血を行う行為です。以上の業務を行う ための絶対条件として、医療の安全を担保するこ とが求められています。そのため、日本診療放射 線技師会が主催し各県で業務追加に伴う必要な知 識、技能、態度を習得することを目標とした研修 を基礎講習の修了者を対象に実施しました。受講 者数は7月27日が47名、7月28日は44名でした。

午前中は動画視聴を行いました。1. 造影剤を 使用した検査や核医学検査のために、静脈路を確 保する行為、放射性医薬品の投与が終了した後に 抜針及び止血を行う行為を30分。2. 核医学検査 のために、放射性医薬品を注入するための装置を 接続し、装置を操作する行為を40分。3.動脈路 に造影剤注入装置を接続する行為、動脈に造影剤 を投与するために造影剤注入装置を操作する行為 を60分。4. 下部消化管検査(CTコロノグラフィ 検査を含む。)のため、注入した造影剤及び空気 を吸引する行為を45分。5. 上部消化管検査のた めに挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入す る行為、造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテー テルを抜去する行為を20分行いました。

午後からはシミュレーター、実習機材等を用い た静脈実技、動脈実技、上部下部消化管実技、核 医学及び静脈(CT)実技の実習に入りました。 ファシリテータ8名のもと、受講生を6チーム (A~F) に分割し、2名1組として1チーム8名 4組で実技研修を受講していただきました。

静脈実技では8ブースを準備してファシリテー タ2名が講師となり、1ブース2名1組で穿刺役、 患者役をそれぞれが担いました。その都度、講師 からチェックが入りその場で指導を受けており、 シミュレーション通りに終えないので刺激がある 実習になりました。

動脈実技では4ブースを準備してファシリテー タ4名が講師となり、1ブース4名2組で清潔役、 補助役をそれぞれが担い、ガウンテクニック、造 影剤注入装置に接続する行為について、講師から のデモンストレーション後に順次手順に沿って各 人が実習を行いました。

上部下部消化管実習では、各4ブース準備をし てファシリテータ2名が講師となり、1ブース2 名1組で行いました。下部消化管は肛門からカ テーテルを挿入、造影剤及び空気を吸入する行為 の実習を、上部消化管では鼻腔カテーテルより浩 影剤を注入する、抜去する行為の実習をシミュ レーターを使用して行いました。

RI実技及び静脈 (CT実技) では、各4ブース を準備してファシリテータ2名が講師となり、1 ブース2名1組で行いました。造影検査手技の操 作手順、核医学検査の操作手順の実技を講師より その都度指導を受けながら行っていきました。

告示研修は厚生労働大臣が指定する研修であり、 令和6年4月1日前に診療放射線技師の免許を受 けた者は、追加された行為を行う際はあらかじめ 受講が義務付けられています。追加された行為を 診療放射線技師が実施するか否かはそれぞれの施 設の考え方によります。いつ何時、実施するよう に依頼されても良いように準備しておくことがこ の研修会に参加する意義だと思います。この研修 会をベースに、更に各施設において教育、研修を 行い安全、安心な医療を提供するようにお願いし たいと思います。

生涯教育委員 曽我 隆正

令和6年度静岡県男女共同参画社会づくり活動 に関する知事褒賞授与式

令和6年7月29日 静岡県庁別館9階第一特別会議室

令和6年7月29日(月)午後1時30分より、静岡県庁別館9階第一特別会議室にて受賞式が行われ、本会の疋野奈央子会員が受賞されました。誠におめでとうございます。

本件の知事褒章は、静岡県の「静岡県男女共同 参画推進条例」に基づき、男女共同参画の推進に 関する取組を積極的に行っている個人・団体、女 性の活躍を推進する事業所や、チャレンジした女 性(個人、団体)を対象としております。

今回、静岡県放射線技師会の中で、ワークライフバランス検討委員会の設立から、その後の活動を鑑み、推薦をいたしました。そして、選考委員会による選考の結果、【チャレンジの部】での受賞となりました。

受賞者の活動内容と功績について、下記に示します。

- 1.「性別によって差別されることなく、診療放射線技師として、ずっと働き続けられる」をテーマに、2017年に静岡県放射線技師会に「ワークライフバランス検討委員会」を立ち上げ、委員長として活動した。
- 2. 子育て中の会員からの声を反映し、集合型勉強会や学術大会の会場に託児ルームを設置するなど、育児中の学習機会の環境を整備した。
- 3. 県内の診療放射線技師を対象に妊娠中の労働環境実態調査を実施し、各世代の意識や、妊娠中の働き方等を把握した。また、具体的な事例をまとめた、「妊娠中の働き方事例集」が、放射線技師の在籍施設における職場改善に寄与している。

以上の活動と功績が認められ今回受賞されました。 今後益々活躍されることを期待しております。

会長 高橋 真







日本医療マネジメント学会第29回静岡県支部学術集会 報告 2024年8月10日 富士宮市役所7階特大会議室

日本医療マネジメント学会第29回静岡県支部学 術集会が、令和6年8月10日(土)、富士宮市 富士宮市役所において開催されました。テーマは 「ワークライフバランス ~安心できる持続可能 な医療の実現~ | で、一般演題、ランチョンセミ ナー、特別講演、シンポジウムのプログラムで開 催されました。会場は、富士宮市役所の7階とい うことでロビーからは市街を一望できるロケー ションでしたが、あいにく富士山を拝見すること ができず残念ではありました。座席数は150ほど 用意されていたと思いますが、満席の状態で、通 路に椅子を置くような盛況ぶりでした。



富士宮市役所 玄関より

午前の一般演題の部では12演題のエントリーが あり、看護師、看護管理者、医療安全管理者の方 の発表が多数でした。特に病院を中心とした現場 の医療マネジメントの取り組みを聴講でき、大変 勉強になりました。

ランチョンセミナーでは「働き方改革に多職種 連携協働を活かす―チーム医療とは何か―|を テーマに文京学院大学大学院福祉医療マネジメン ト研究科教授の藤谷先生のお話しを拝聴しました。 現在の医師の働き方改革における取り組みは10年 以上前から、すでに取り組みの必要性は提唱がさ れており、その必要性は過去から問題視されてい たが、ようやく医療の世界での働き方改革に取り 組む時代がやってきた、という話を聞くことがで きました。その中で、他の業種と違い、我々の業 界におけるリーダーシップとしてシェアードリー ダシップが必要であり、そのリーダーとして、コ ラボレイティブリーダーが承認や協働を推し進め ていくことの重要性を説いていました。大変共感 できる内容で、わたし自身もリーダーシップの取 り方について考える必要があることを感じました。

シンポジウムでは、「ワークライフバランス働 き方改革」と題して各職種を代表して、ワークラ イフバランスの取り組みについての紹介がなされ ました。医師では中東遠総合医療センターの取り 組みでGoogleのWorkspaceを活用した効率化の追 求ということで、DXの推進にGoogleというツー ルを活用して人材の有効活用、医療情報の二次利 用についての紹介でした。看護師では、日本赤十 字社浜松赤十字病院の取り組みでプラチナナース の活用についての報告がされました。看護協会で 定年退職前後の就業している看護師でいきいきと 輝き続けている看護師を「プラチナナース」と定 義して、看護のマンパワーを支える人材として活 躍が期待されているとの紹介があり、浜松赤十字 病院でのプラチナナースを活用していくための基 準を作成し、その取り組みが紹介されました。診 療放射線技師からは静岡県放射線技師会生涯教育 曽我隆正 委員長より「診療放射線技師の告示 研修(実技研修)によるタスクシフト」について 発表がありました。令和3年の法律改正に伴い、

職能団体である日本診療放射線技師会が中心となって告示研修に取り組んできたこと、告示研修の内容について詳細に報告をしていただきました。最後にリハビリテーションの取り組みが紹介されました。職種別の勤務配置から疾患別への組織改革を行い、PT、OTの垣根を取り払い、人員を確保しながらもリハ処方をこなしていくことで処方数の増加に対応できたことの紹介がされました。このセッションでの発表はどれも大変すばらしく、また、取り組みの成果もあることから、各施設、現場でも取り組みことが必要なのでは、と感じました。

以前より医療マネジメント学会会員ではありましたが、なかなか今まで参加することができず、 今回、曽我委員長が発表されるという情報もあり、 参加させていただきました。他の医療業種においても非常に素晴らしい取り組みがされていること を知り、大変刺激をいただきました。会員の皆さまにおいては、特に管理業務をされている方には、 ぜひ参加をお勧めしたい学術集会であると思いました。

今回の学びを今後の業務、技師会活動に役立てたいと思います。

曽我委員長お疲れ様でした。



学会終了後の「丸天」より ランチョンセミナーでは富士宮焼きそばを堪能

副会長(西部) 小林 秀行

第83回超音波部会研修会

令和6年9月7日(土) 静岡県放射線技師会事務所

令和6年9月7日(土)13:30より静岡県放射 線技師会事務所にて第83回超音波部会研修会が開 催されました。

今回の内容はメーカーによる最新技術の講演と 症例報告会及び教育講演として開催しました。

メーカー講演ではキャノンメディカルシステム ズ株式会社様より最新技術について情報提供をし て頂きました。

症例報告会では4症例の報告がありました。

1 症例目は菊川市立総合病院の原崎美佳さんより「浸潤性小葉癌との鑑別に難渋した糖尿病性乳腺症の一例」として報告がありました。両側乳房外側に痛みを伴う硬結の精査目的で紹介となった症例。超音波所見からは、浸潤性小葉癌を疑ったが、その後の乳腺組織生検で糖尿病乳腺症と診断された。

浸潤性小葉癌と糖尿病乳腺症の鑑別ポイントは、境界線断裂の有無を見る事が挙げられるとの報告でした。超音波検査で、糖尿病乳腺症の所見を指摘する事が出来れば、良性疾患である糖尿病乳腺症の不必要な摘出や、過剰診療を避ける事に繋がる症例であったと報告がありました。

2症例目は富士市立中央病院の岡根谷侑さんより「下肢静脈US時に偶発的に発見された膝窩腫瘤の一例」として報告がありました。左股関節症の手術の為に入院中の患者で、DVT検索目的のため超音波検査が依頼された症例。超音波所見は、両側の膝窩部に多発性腫瘤像を認め、DVTは見られなかった。

単純CTの所見では、腫瘤辺縁に石灰化様の高吸収域を認めた。既往歴や画像所見、血液データから、アミロイド関節症の可能性が考えられた。文献によると、皮下の軟部組織に腫瘤を呈するアミロイド関節症は稀であり、透析期間が長いほど生じやすいと報告がありました。

3症例目は藤枝市立総合病院の戸崎琴音さんよ

り「限局性肝内胆管拡張の一例」として報告がありました。主訴は体重減少で、胸腹部CTで左肝内胆管拡張を認め、精査加療目的に紹介となった症例でした。超音波検査所見は、肝左葉に限局性の胆管拡張が見られ、拡張した胆管下流に腫瘤性病変を認めた。CTやMRIの画像所見を見ると胆管内かつ乳頭状に発育していることからIPNBが疑われた。その後肝左葉切除術が行われた、病理結果ではIPNBと診断された。拡張した胆管内の腫瘤性病変はIPNBの鑑別も念頭に置く必要があると報告がありました。

4症例目は島田市立総合医療センターの鈴木陽一郎さんより「腹腔内出血の一例」として報告がありました。来院時CTで、十二指腸周囲及び肝周囲に血腫が見られ、腹腔動脈起始部には狭窄を認めた。

その後、動脈塞栓療法により膵十二指腸動脈分岐部の動脈瘤の止血が行われた。来院時CT所見から正中弓状靭帯圧迫症候群が疑われ、精査目的で超音波検査が依頼された。超音波所見は、吸気時に腹腔動脈の血管形状の変化と血流速度上昇を認め、正中弓状靭帯圧迫症候群と矛盾しない所見であった。その後靭帯切除術が行われ、上記所見が改善した。正中弓状靭帯圧迫症候群とは、正中弓状靭帯の位置が先天的に低いために、呼吸によって腹腔動脈や腹腔神経叢が圧迫され、食後の腹痛を来す疾患である。

腹腔動脈の狭窄が起きると、肝臓や十二指腸などの血流不足を上腸間膜動脈からの血流で補う。 上腸間膜動脈からの膵十二指腸アーケードは非常に脆く、血流が増加することで動脈瘤を形成しやすくなると報告がありました。

教育講演では、元キャノンメディカルシステム ズ株式会社の濱滝壽伸先生より「使いこなそう超 音波ドプラ法」として講演して頂きました。

超音波部会 山本 裕介

第14回 フレッシャーズセミナー 報告

令和6年9月8日 静岡県放射線技師会 事務所

令和6年9月8日に静岡県放射線技師会事務所にて、第14回フレッシャーズセミナーを開催しました。

本セミナーは日本診療放射線技師会が主催し、 各県放射線技師会において平成23年度より毎年開 催されています。

日本診療放射線技師会は平成13年度、会員数が約32,000名であったのですが、ここ数年で団塊の世代の方々の退職や技師会離れが進み、現在では28,000名程度と減少してきています。これは静岡県においても同様です。この状況に歯止めをかけるべく、特に新人の方を対象とし、技師会活動の理解を深めていただくこと、また医療者として必要な基礎知識を身につけ、医療及び保健・福祉の向上に努めることを目的として開催しました。

朝から気温が30度を超える残暑が厳しい中でしたが、14名の方に参加していただき会場参集型にて行いました。参加者14名のうち卒後3年目までのフレッシャーズは12名でした。講義内容は、入会案内、エチケット・マナー、医療コミュニケーション、医療安全、感染対策、被ばく低減の6科目を4.5時間みっちりと行いました。

入会案内は髙橋真会長から職能団体としての日本診療放射線技師会の活動、静岡県放射線技師会の歩みや会員の動向及び会費についての説明があり、会員になって頂けるように働きかけがありました。

エチケット・マナー、医療コミュニケーション 講座では身だしなみや挨拶など基本的なことを中 心に、対応する技師の接遇によって与える印象が 様々であることや、電話の対応、電子メールの書 き方などの説明が行われました。

医療安全講座では、基本的な考え方や医療安全 の確立における今までの経緯を説明し、過去に報 道された事例の紹介、講師自身が体験した事例を 紹介しました。身近な事例を知ることにより、医 療事故の発生率や重篤度を抑制できるなどの説明 がされました。

感染対策講座では、空気、飛沫、接触による感染経路や感染症の事象を中心に、直接患者さんに触れるケースが多いために、自分自身がいかに清潔に保ち患者さんからの感染を防ぐか、手指消毒の重要性と方法の説明がされました。

被ばく低減講座は、被ばく低減に向けた今までの取り組みや、ガイドライン設定の目的、診断参考レベルの説明。医療被ばく相談に向けての対応の方法などの説明がされました。

本セミナーの趣旨は、医療人としての基礎的な知識の習得、および診療放射線技師会への入会促進です。それに加え各講師には診療放射線技師からの視点で各講義をお願いしました。会場型にこだわり開催を企画した意図は、フレッシャーズの方々に静岡県放射線技師会会長のお顔、県技師会事務所のご紹介、また他施設の診療放射線技師との思いです。また、本セミナーの参加を足掛かりに院外の研修会への参加に関心を持っていただくことの意義もあると考えています。そのため今後もできる限り会場型での開催を継続していきたいと思います。

最後に受講者およびセミナー開催にご尽力いた だきました講師の皆さまに、心より感謝申し上げ ます。



生涯教育委員 曽我 隆正

第42回静岡ふれあい広場

2024年9月8日(日) 10:00~14:00 静岡市葵区 青葉シンボルロード

第42回静岡ふれあい広場が静岡市葵区の青葉シンボルロードを会場に開催されました。静岡県放射線技師会として20年以上の参加実績があるイベントです。今回は例年に倣い、超音波による骨密度測定(QUS)体験と診療放射線技師の仕事についてのパネル展示を行いました。

開催の1週間前には日本の気象史上で稀に見る「迷走台風」となった台風10号の影響で、静岡県内は広範囲で交通機関の乱れや大雨による浸水被害がありました。転じてイベント当日は晴天となり、最高気温33.8度を記録する酷暑となり、体力的には非常に厳しい条件での開催となりました。当日は技師会事務所でフレッシャーズセミナーが開催されていたこともあり、多くの皆様から励ましの言葉をかけられながらの準備、運営となりました。会場には高橋会長と天野副会長にも足を運んでいただきました。

技師会のブースには101名の方に訪れていただきました。このうち骨密度の体験をされた方は69名でした。子どもからお年寄り、障がいのある方々など、色々な方々とお話しすることができました。隣のブースの方々がギターで歌いだしたり、手話でのコミュニケーションに戸惑ったりと、参加した役員も楽しみながら過ぎすことができました。多くの方々に診療放射線技師のことについて知っていただけたと思います。





パネル展示



QUS測定体験

参加者(中部地区会役員) 9名 静岡県立総合病院 中村 元哉 同 滝口幸次郎 同 近藤 大祐 静岡済生会総合病院 南澤知紗子 藤枝市立総合病院 曽根 良介 聖隷健康サポートセンターShizuoka

 JA静岡厚生連 静岡厚生病院
 新原 汀紗

 JA静岡厚生連 清水厚生病院
 河西 南実

 静岡市立清水病院
 山本 博貴

第40回乳腺画像部会研修会報告

令和6年9月14日(土) 聖隷三方原病院

今回のテーマは「局所的非対称性陰影 (FAD)」で、「美しく読む『FAD』~陰影の真実 を見抜こう~」という演題で、聖隷予防検診セン ターの諏訪香先生にFADの読影方法を解説して いただきました。

そもそもFADとは、マンモグラフィ画像で、 腫瘤のように辺縁がはっきりしないうえ正常乳腺 でもないものを示し、つまりこれは腫瘤として認 識できない浸潤癌を探すための所見であることを 教えていただきました。

FADを診断するためのポイントは3点あり、1つ目はFADの範囲を把握すること、2つ目は第4版マンモグラフィガイドラインのFAD評価表に沿って診断すること、そして3つ目はFADならではの読影のコツを掴むことが大切です。2021年に第4版ガイドラインが出版され、FADの診断基準が細かく定められました。今回のご講演ではFAD評価表の見方が詳しく解説され、大変勉強になりました。

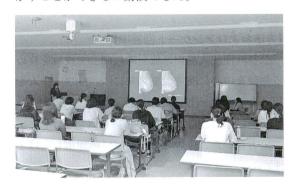
諏訪先生はご講演の最後に、「陰影の真実を見抜くには真実を写す画像を撮影すること」と仰せられ、撮影技術の大切さを再認識しました。FADは左右対称に撮影し、乳腺が広く伸展していないと偽陽性を作ってしまうことがあります。現状、検診のマンモグラフィはFAD所見で要精査になるケースが多く、精査機関で再撮影や他モダリティーで検査を行うと、約7割が「異常無し」と診断されるそうです。偽陽性で精密検査を受けるのは、受診者の時間とお金を無駄に奪い、また不安まで与えてしまいます。ポジショニングがいかに重要か痛感する一言でした。

次に、聖隷三方原病院の中村陽子会員が「美しく撮る『FAD』」という演題で、欠像のない、乳腺を広く伸展させるためのポジショニングのコツ

をご教授してくださりました。

乳腺を広く伸展させるには後壁側と乳房下部のスペースを利用して広げる必要があるため、まずは欠像がないように乳房全体をしっかり引き出すことが重要です。乳腺は、今ある乳腺だけでなく、かつて乳腺があった場所にも癌が発生することがあるので、かつて乳腺があった場所、つまり乳腺後隙まで含めて描出することが大切です。また、乳腺を伸展させる際は、乳腺が広がる方向と手の進む方向が逆になるため、乳腺が偏ってしまわないように注意します。乳腺下部は掌を使用して広げ、乳腺上部は指に力を込めて広げ、広げたところを圧迫板に徐々に置き換えていくと、綺麗に伸展した乳腺画像を撮影することができます。

新人の方から中堅の方まで、改めてポジショニングの基本を学ぶことができ、明日の撮影から活かすことができるご講演でした。



この度の研修会で、FADについて読影・ポジショニング共に詳しく学ぶことができ、アンケート結果も大好評で終えることができました。最後に、今回の研修会の開催に関してご尽力いただきました役員の皆様、聖隷予防検診センターの諏訪香先生、聖隷三方原病院の中村陽子会員、参加者の皆様、誠にありがとうございました。

乳腺画像部会員 中島 祐子

学術論文

放射線マネジメントシステムに関するアンケート調査報告

静岡市立静岡病院 千葉 和宏 中東遠総合医療センター副部会長 黒田 紗弓

【はじめに】

令和3年の電離放射線障害防止規則改正により 眼の水晶体の等価線量限度が引き下げられ、放射 線業務従事者の被ばく管理は一層重要度を増して いる。厚生労働省は、放射線業務従事者の被ばく 低減に対する組織的な取り組みとして、「放射線 被ばく管理に関する労働安全衛生マネジメントシ ステム(以下MS)」の導入支援を行い、原子力安 全技術センターが事業を行っている。静岡県内で もMSを導入している施設がいくつかあり、積極 的に活動されている。

そこで、静岡県内でのMSの認知度、放射線業務従事者の被ばく管理の現状や課題を調査し、情報を共有することを目的にアンケート調査を実施した。

【方法およびアンケート回答率】

公益社団法人静岡県放射線技師会で役員を務める施設を中心に38施設を対象にGoogleフォームを用いてアンケートを実施した。

38施設中27施設より回答を得た(回答率71%)。 ご協力頂いたご施設の担当者様に感謝申し上げま す。

【結果】

①MSについて

MSの認知度は27施設中19施設(70%)で知っているとの回答であったが、実際にMSを導入している施設は5施設であった。MSを導入していない22施設で、今後MSを導入したいと思う施設は12施設であった(図1)。

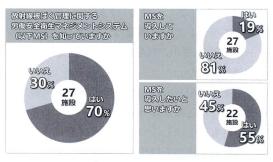


図1 MSについて

②労働者の放射線被ばく管理組織について

労働者の放射線被ばく管理組織(委員会等)を 設けている施設は27施設中20施設(74%)であっ た。組織の長は、放射線科医師が務めている施設 が多かった(図2)。

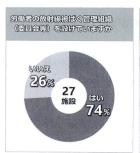




図2 放射線被ばく管理組織について

管理組織の活動頻度は、年1回の施設が8施設、 年数回の施設が9施設、年10回以上の施設が3施 設となった。

放射性同位元素等の規制に関する法律(以下、 RI法)、医療法、電離放射線障害防止規則(以下、 電離則)において法律ごとの担当者を配置してい る施設は、27施設中7施設であった。 いずれの法律においても放射線取扱主任者が担当している施設が多かった(図3)。

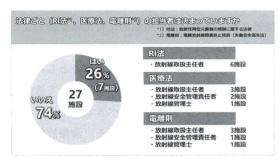


図3 法律ごとの担当者について

③個人被ばく線量計について

個人被ばく線量計の配布基準は、職種ごとに配布している施設が27施設中12施設(44%)、被ばく線量に応じて配布している施設が6施設、全員に配布している施設が4施設となった。

個人被ばく線量計の装着の有無の確認は、27施設中14施設(52%)で確認していたが、13施設で確認していない現状であった。装着確認を行っている施設では、検査ごとに行っている施設が4施設、一月ごとに行っている施設が4施設、半年ごとに行っている施設が2施設、一年ごとに行っている施設が3施設となった(図4)。

被ばく線量が高い労働者に対し、介入する基準となる被ばく線量の設定について、実効線量では1.6mSv/月が6施設で最も多かったが、施設間で様々な基準が設けられていた。設定していない施設は3施設あった。眼の水晶体等価線量でも同様で、1.6mSv/月が6施設で最も多く、次いで20mSv/年が5施設あった。設定していない施設は3施設あった(図5)。

被ばく線量が高い労働者に対するヒアリングやアドバイスを行っている施設は、27施設中24施設 (89%) であり、積極的に介入している傾向であった。

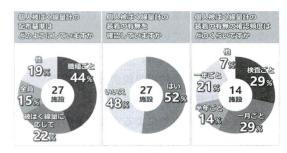


図4 個人被ばく線量計について

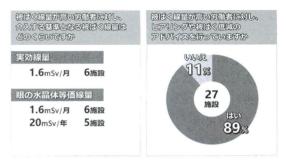


図5 被ばく線量が高い労働者への介入

④職員異動に対する対応について

職員が異動する際は、個人被ばく線量を管理する上で前施設からの引き継ぎや次施設への引き継ぎが重要である。異動先の施設へ線量データを引き継いでいる施設は27施設中19施設(70%)であった。また、前所属施設への線量データの請求を行っている施設は27施設中17施設(63%)であった(図6)。

将来的には、個人被ばく線量計メーカー同士で 線量データの共有化ができ、施設間でのやり取り の負担がなくなるようなシステムが構築されるこ とを期待したい。

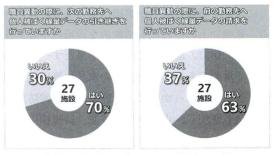


図6 職員異動に対する対応について

- ⑤医師の被ばく線量が高い場合、被ばく線量低減 のために工夫していること
- ・立ち位置の確認、指導、アドバイス
- ・防護眼鏡(度付き防護眼鏡含む)の採用
 - ・防護板、防護カーテンの導入
 - ・防護板の位置や有無による空間線量の把握
 - ・本人、上司への報告とヒアリング
 - ・透視時間の短縮、透視条件の変更
- などが挙げられた。
- ⑥医師の個人被ばく線量計の装着率向上のために 工夫していること
- ・診療科カンファレンスや委員会での説明
- ・ポスター掲示
- 各部署に線量計の置き場所を設置
- ・個人ごとの防護衣を決め、線量計を常時装着
- ・未装着者を見つけたら声を掛ける などが挙げられた。
- (7)放射線管理について、課題や困っていること
- ・防護用品の管理、破損時の対応
- ・個人被ばく線量計の配布、回収、回収率向上
- ・被ばく低減に対する意識向上

などが挙げられた。診療放射線技師を含め、放射 線管理業務を行っていない職員の被ばく低減への 意識が低いという声が多く寄せられた。

【おわりに】

個人被ばく線量計の装着率や、月ごとの交換・ 回収率が上がらないという背景には、放射線被ば くに対する意識の低さが要因にあるように思われ る。意識向上のためにも積極的な声掛けやヒアリ ングが大切で、診療放射線技師が果たすべき役割 として重要である。また、眼の水晶体等価線量限 度引き下げをきっかけに、管理する放射線防護用 品の数も増加し、点検や破損確認、新規採用や廃 棄手続きなど、業務負担も増加しており、放射線 科として組織で管理をしていくことが大切である。 この報告が自施設の被ばく管理体制の構築や管理業務の見直し・改善の一助になれば幸いである。また、MSの導入施設増加を期待し、施設間での情報共有・情報交換が積極的に行える環境になることを望む。

さいごに、医療被ばく、職業被ばくともに誰かが管理してくれるのではなく、組織として診療放射線技師全員で管理していくべきことであり、私たち診療放射線技師の責務である。診療放射線技師ひとりひとりの意識向上に期待したい。

学術論文

下肢静脈USで偶発的に認めた膝窩腫瘤

富士市立中央病院 岡根谷 侑

【症例】

80歳代、女性

【既往歴】

1996年~透析

2015年 左手関節骨折、左股関節頚部骨折

2017年 脊柱管狭窄症

2023年 右手根管症候群手術

2024年 左股関節症手術

【超音波検査】

左股関節症手術で入院中にDダイマー $14 \mu g/ml$ と高値を示し、DVT評価目的で下肢静脈検査が依頼された。

検査時に明らかな血栓像は認めなかったが、両側の膝窩部に多発する辺縁低エコー帯を伴う境界明瞭な類円形腫瘤を認めた。内部は無エコーや高エコーな領域が混在し、後方エコーの増強を認めた(図1)。



図1 右膝窩腫瘤の超音波画像

腫瘤同士は近接して観察されたが、輪郭の不整

は認めなかった(図2)。また一部の腫瘤には内 部に拍動性血流信号が確認された(図3)。



図2 超音波画像

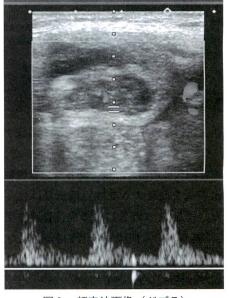


図3 超音波画像 (ドプラ)

【CT画像】

以前に撮影されたCT画像でも両側膝窩部に多 数の腫瘤像が確認できた。腫瘤は筋肉よりもやや 高吸収で、US画像では確認できなかったが、腫 瘤辺縁には石灰化様の高吸収を認めた (図4)。 単純CTのみで腫瘤の造影効果や血流の有無に関 しては不明。

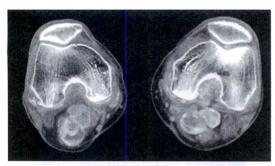


図4 CT画像

【鑑別疾患】

超音波画像とCT画像より鑑別疾患としては色 素性絨毛結節性滑膜炎 (PVS)、アミロイド関節 症が挙がった。それぞれの疾患の特徴を表1にま とめた。

表1 PSVとアミロイド関節症

色素性絨毛結節性滑膜炎	アミロイド関節症			
膝関節、股関節、足関節、 肘関節	膝関節、股関節、肩関節、 手関節			
関節周囲の軟部組織腫瘤 骨浸食像	結節状の軟部腫脹 軟骨下骨の多発性嚢胞様変化			
筋肉よりもやや濃度の高い多結節状腫瘤 辺縁明瞭な骨浸食像				
T1:低〜やや高信 T2:低信号、 T2*:強い低信号	T1、T2:低~等信号 T2*:筋肉と同程度			
20~50歳代に多い。 ヘモジデリン沈着	透析患者 両側性			
	膝関節、股関節、足関節、 肘関節 関節周囲の軟部組織腫瘤 骨浸食像 筋肉よりもやや 辺縁明 T1:低〜やや高信 T2:低信号、 T2:低信号、 72*:強い低信号 20~50歳代に多い。			

以前に撮影した手関節のMRI画像を確認すると T1、T2で低信号な病変が散見された。T2*で は筋肉と同程度の信号強度であり、色素性絨毛結 節性滑膜炎を疑うような強い低信号は見られな かった (図5)。また骨には多発性嚢胞様変化を 認め、X線写真でも同様の変化が確認された。

その他、股関節周囲にもアミロイドの沈着を疑 う腫瘤が散見された(図6)。



図5 右手関節MRI画像



図6 股関節のCT画像

(β2ミクログロブリン)が21mg/lと基準値が 2 mg/l以下であるのに対し、高い値を示していた。 既往歴や過去画像、血液データからアミロイド 関節症が背景にあり、今回の検査で認めた腫瘤は アミロイドが関節周囲に沈着したアミロイドーマ の可能性が考えられた。

(まとめ)

下肢静脈検査時に、膝窩部に多発する腫瘤を経 験した。超音波画像だけでは判断できなかったが、 既往歴や過去画像、血液データからアミロイドー マが最も疑われた。しかし、腫瘤は精査されてお らず、確定診断できていない。

アミロイド関節症は透析期間が長いほど、生じ やすい。透析医療の進歩により透析患者の寿命が 改善されてきており、このような腫瘤に遭遇する 機会が増えるかもしれない。

膝窩にできた腫瘤が静脈を圧排し、DVTの原因 になることが知られているが、今回の検査でその 血液データではアミロイドに変化する β 2 MG ような所見は観察されず、血栓像も認めなかった。

学 術 論 文

島田市立総合医療センター 鈴木 陽一郎

臍部痛にて救急搬送された50代男性。急性腹症を疑われ、すぐに造影CTが施行された。CTにて腹腔内出血あり、下膵十二指腸動脈分枝と思われる部位に動脈瘤形成が認められたため、緊急TAEがおこなわれた。血管撮影では、胃十二指腸動脈は求肝性の血流を示した。先の造影CTと血管撮影で腹腔動脈起始部での高度狭窄が示唆され、膵十二指腸アーケードの発達もみられるため正中弓状靭帯圧迫症候群が疑われた。

正中弓状靭帯とは横隔膜が椎体前面で結合してできたもので、通常この靭帯が問題となることはないが、正中弓状靭帯の位置が低いと、腹腔動脈や腹腔神経叢が圧排され食後の腹痛など神経障害をおこしたり、膵十二指腸アーケード形成による

動脈瘤をきたすことがある。また呼気で正中靭帯 は下方に引っ張られるため腹腔動脈が圧迫されや すくなる。

コイル塞栓術で出血が止まり、容態が安定して から、正中弓状靭帯圧迫症候群の確認として腹部 エコーが依頼された。

エコーでは、腹腔動脈起始部が呼気で頭側に吸 気で尾側に変位し、腹腔動脈の血流速度が呼気時 に上昇する(腹腔動脈の狭窄を示唆)という所見 が見られたため、正中弓状靭帯圧迫症候群として 矛盾ないことを確認できた。

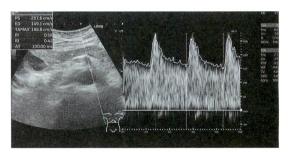
その後、弓状靭帯切除術を受け、術後のエコーでは、呼吸による軸の変位はなくなり、血流速度の呼吸による変化も消失し、血流速度も低下した



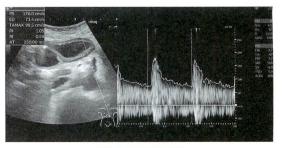
Celiac.A起始部の軸変位(呼気)



Celiac.A起始部の軸変位(吸気)



呼気時のCeliac.A起始部血流速上昇



吸気で血流速低下

(術前は吸気時176cm/s、呼気時257cm/sが術後は吸気時108cm/s、呼気時108cm/sとなった)。

当日会場からの質問にあった胃十二指腸動脈の 逆流の確認については、その時は思いつかず確認 できなかったことをこれからに生かしたいと思い ました。

今回、発症率1%未満とされる比較的稀な症例を経験したが、この後続けて2件の正中弓状靭帯圧迫症候群の患者を経験したことより、報告よりもこの症候群患者は多い可能性を感じ、腹痛の精査にこの疾患の存在も認識する必要性もあるのかなと思われました。

美しく撮るFAD ~そのFAD, 本当にFAD?~

聖隷三方原病院 中村 陽子

MMGに求められる画像というのは、

- 1 乳腺組織全体が写し出されている画像
- 2. 乳腺組織内部構造が分かる画像

であり、これは乳腺を広く広げて撮影するということである。ポジショニングの良し悪しはそのまま診断精度につながるため、正確なポジショニングが重要となる。本研修会では、乳腺を広く広げて美しく撮影するためのポイントを、実際の画像も踏まえて講演した。その主な内容を紹介する。

1. 乳腺組織全体が写し出されている画像

欠像のないポジショニングを行うためには、乳腺の位置を正確に把握する必要がある。年齢とともに乳腺は脂肪に置き換わるが、図1のようにかつて乳腺が存在していた場所も考慮する必要がある。



図1 かつて乳腺が存在していた場所

この部分からも乳がんは発生するわけで、乳腺後壁までしっかりと画像に写しこむことが大切である。では、美しく伸展された画像を撮影するためのポジショニングの手順を一つ一つ見ていきたいと思う。

① 立ち位置

受診者には自然に真っすぐ立ってもらい、体が 曲がらないように注意する。そうすることによっ て、腋窩深部の真下に同側の足がくることが多い。 左右・前後の立ち位置もこの時に確認し、身体が 前後傾姿勢にならないように、真っすぐ自然に 立っていられる位置であることが重要である。 (図2)



図2 立ち位置

② 乳房支持台の角度

マンモグラフィガイドラインに記載されている 「大胸筋外側と平行となる角度」¹⁾ は、視覚的に 捉えづらいため、可動性組織を固定組織に十分に 寄せてきた手の角度に乳房支持台の角度を合わせ る。受診者ごと、左右の乳房でも角度が異なるた め、毎回調整することが必要である。

そして、図3のように、乳房を十分に寄せたら、 寄せたところに支持台を合わせる。寄せてきた手 の平の角度が支持台の角度になるため、この時点 でズレがある場合は修正をすることが必要である。 角度が違うままポジショニングを続けると、受診 者の体勢は自然体(真っすぐ)ではなくなる為、 皺の原因となる。

可動性組織と固定組織

十分に外側を寄せたら...



図3 支持台の角度

③ 手を返す

乳房外側を十分に寄せたら、乳房をひねらないように手を返す。このとき、乳腺下部の可動性組織をしっかりと持ち上げ、前方に引き出すようにする。(図4)

支持台の角度を微調整



図4 手の返し方

手を返す時は、皺の原因となる手の分の隙間を 埋めることが重要なポイントである。受診者に声 かけして、患側の足を少しだけ外側に開いてもら うようにするとスムーズに誘導できる。上半身の みで動くと、身体が傾いて下部がねじれてしまう ため、全身で平行移動するように心掛ける。

この一連の作業が乳房を広く描出するための基本的な手順である。次に、乳腺を広げる作業の説明をしていく。

2. 乳腺組織内部の構造が分る画像

今回のテーマである「FAD」を作らないようにするために最も重要なのは、乳腺実質の重なりを無くし、わずかな変化を濃度差として認識できる画像であり、乳腺をしっかり広げて撮ることで

ある。

乳腺を伸展させる時、乳頭側に伸展させようとすると乳頭直下で乳腺が溜まってしまい、行き場がなくなってしまう。図5のように、乳腺を伸展させる場所は乳腺後壁の部分になる。また、乳房下部に関しては、上部に比べて伸展させられる場所がさらに少ない為、しっかりと持ち上げてインフラを描出する必要がある。

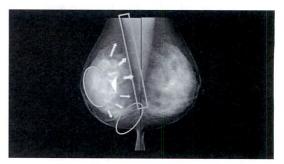


図5 乳腺の広がる場所について

以下、乳房の伸展させるための手法について、 乳房下部と上部と分けて述べていく。

④ 乳房下部の伸展性

乳房下部の伸展では乳腺の広がる場所を確保するため、しっかりと持ち上げるようにして乳房を支持台にフィットさせる。親指や手首 (橈骨側)でインフラが入っていることを感じながら確認する。(図6)



図6 乳房下部の伸展性

そして手の腹をつかって乳腺下部をしっかり伸展させる。

⑤ 上部の伸展性

乳房上部はCC'領域が多く含まれ、一般的に乳

腺量が多い為、乳腺が溜まりやすい。ボリューム のある乳房など、特に意識して指先まで力をいれ てしっかり伸展させる。

このように、手の腹で乳腺下部を、指で上部を、 手全部を使って伸展させる。(図7)

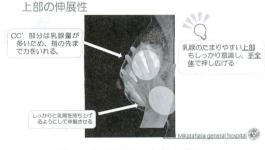


図7 乳房下部、上部の伸展性

乳腺は繊維組織のため硬く、しっかりと伸展させることを意識して伸ばさなければ伸展できない。しかし、ただ押せば良いというものではなく、痛みが伴うため、受診者の様子を観察しながら行うことが重要である。

⑥ 圧迫

しっかりと乳腺を伸展させてから、最後に手と 圧迫板をすり替えていく。ここで重要なのが、乳 腺の広げる方向と手の抜く方向の違いを理解する ことである。



図8 圧迫時の手の動きと乳腺の伸展方向

乳腺を伸ばしてから、手と圧迫板をすりかえていくとき、図8のように、手は胸壁から乳頭に向かって抜くが、乳腺の広がる方向は乳腺の後壁方向のため、逆なのが分かると思う。

したがって、圧迫板を下ろすときは伸展が終

わってからである。しっかりと手で伸展させて、 完成形を作ってから、ただ手と圧迫板をすり替え るだけである。

手を抜くときは手の甲と肘までを一直線になる ように伸ばして、重力に負けないように、乳房全 体を下垂させないように注意する。

これで美しいマンモグラフィの完成である。

最後に、身体が真っすぐになっているかを最終 確認する。

圧迫板を下ろす際に、反対側に当たるため、少し身体を開くと思うが、そのままでは乳腺が欠けるだけでなく、身体がねじれて乳房下部の皺の原因になる。身体を開いたら、開いた分は戻して真っすぐになるようにする。

また、乳房支持台にもたれかかるような体勢に ならないように注意が必要である。

②で、乳房支持台の角度を体形に合わせていたが、その際に1度、2度…と、微調整していたにもかかわらず、ここでもたれかかる体勢にしてしまったら、大きく角度がずれてしまい、最初に合わせた意味がなくなってしまう。

まとめ

美しく伸展されたマンモグラフィを撮影するために以下の点が重要である。

- ・乳腺の広がる場所の理解をする
- ・今ある乳腺だけでなく、かつて乳腺があった場所も含めて描出する
- ・手全体を使って乳腺を伸展させ、圧迫する

また、撮影前に画像が見られる場合は、必ず前 回画像や紹介元の画像を確認してから撮影に挑む べきである。

撮影条件、前回のポジショニング、読影結果からのポジショニングで気を付けるべき点、乳腺の様子など、あらかじめ見てから撮影するのとしないのでは大きな差になるだろう。

次に、自分の撮影した画像を見直すようにしよ

う。自分のポジショニングはよかったか?改善点はないだろうか?どうすればもっと良い画像がとれたか?見直すことが本当に大切で、次からの良いポジショニングに繋がるだろう。可能であれば乳房超音波画像やMRIを見て、FADは本物だったか?と、見直してほしい。こうすることによって、ポジショニングは上達するだろう。

MLO、CCと2方向で映らないものはポジショニングの問題かもしれない。

伸展された画像は美しい読影に、そして正確な 診断に繋がるだろう。しっかりと伸ばして、より 美しいマンモグラフィを目指していきたい。 本稿が皆様の臨床での検査に役立てれば幸いであ る。

参考文献

1)(公社)日本医学放射線学会/(公社)日本 放射線技術学会.マンモグラフィガイドライン第4版.東京、医学書院.2023



キャリア支援委員会 中村 潤

皆さん、こんにちは!

「ワークライフバランス検討委員会」改め、「キャリア支援委員会」東部地区担当の中村です。 今回のテーマは「思い描く技師像」です。東部地区の病院から2年目の新人技師さんと技師歴28 年のベテラン技師さんに寄稿して頂きました。それでは、お楽しみください!

奇跡的に技師になった男の話

富士市立中央病院 佐々木 喬弥

今回、自分の思い描く放射線技師像について書いてほしいと言われたので、この場をお借りしまして語らせていただきたいと思います。テーマとは少しずれてしまいますが、数ある職業の中で私がなぜ診療放射線技師という職業を選んだのかについてお話ししたいと思います。

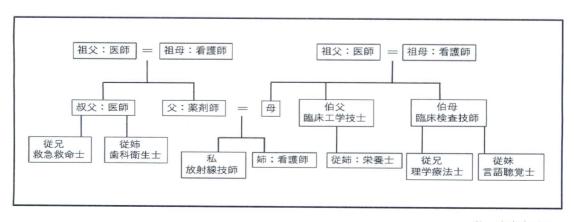
私の家系は代々医療家系であり、両祖父はともに医師であり、両祖母はともに看護師、両親や他の親族も医療関係の仕事に携わっています。その中、佐々木家の長男である私へ向けられる身内からの期待のまなざしは計り知れないものでした。中学時代は勉強が苦手で何をしても成績が上がらず、周りからの期待が高くなればなるほど自分の実力と照らし合わせてしまい、逃げ出したくなる日々を送っていました。両親には「部活に力を入



れたいから、友達との時間を大切にしたい」と言って意図的に学業から逃げようとする日々が続いていました。今思えばこの時期が自分史上最大の反抗期だったのではと思います。そして、自分の将来性がはっきりとはしないまま高校を選ぶ時期になってしまいました。しかし、身内には医療系の道に進む意思があることを示すべきだと考えていたので、高校では珍しいですが、医療進学コースがある高校へ入学することを決断しました。医療について学び始められるのは高校2年からだったので、入学してからしばらくは自分の将来

について考えることはありませんでした。 高校 2 年になると本格的に医療について学ぶ機会が増え、 座学では人体の構造や解剖学、様々な疾患やその 治療方法について学び、実技では心肺蘇生講習や 患者の介助方法、ときには近くの民間病院や特別 支援学校への見学なども行い、医療に対してより 深く知るきっかけとなった年になりました。医療 クラスは40人で編成され、看護師志望の生徒が大 多数を占めていたこともあり、授業内容は看護を 中心とした内容が比較的多く、何の将来性も見い だせていなかった私は周りの流れに合わせて自分 も看護の道に進みたいと口ずさむようになってい きました。看護師になりたいと言いはじめてから は自然と将来性が明確になったような気がして、 看護師になるための資格や給与、自分に合った大 学などを調べていくうちに勉強への意識も高まり 成績も上がっていきました。 高校2年の冬、授業 の一環で民間病院へ見学しに行く機会があり、そ の際に看護師が実際にどのような業務を行ってい るのか座学だけではわからなかった部分について 知る機会がありました。しかし、このとき私が看 護師という職業に抱いた最初の気持ちは「わくわ くしない」でした。もちろん、看護師の存在がど れほど偉大で病院にとってどれほど必要不可欠な 存在かということは十分知っていて、リスペクト していましたが、「医療に携わるのであればもっ

と深く医療について触れることのできる職業の方 がやりがいはあるのではないか? | 「日々変化の ある職業の方が飽き性の自分にとっては合ってい るのではないか? | と思い、看護師になりたいと いう自分の目標はこのときに完全になくなりまし た。そして何も将来性がはっきりしないまま受験 期間に突入してしまいました。人によっては大学 に行ってから将来のことを決めようとしている友 人も多かったですが、国家資格が必要となる医療 系の大学では、最初からなりたい職業について固 めておく必要があったので、絶対に自分のなりた い職業だけは決めてから大学を選ぶという流れが 私には必須でした。そこで、職業を選ぶにおいて 自分の中で絶対譲れない条件を2つに絞り、消去 法で自分のなりたい職業を決めることにしました。 その2つの条件は「医療系の職業の中でも比較的 高い給与」、「身内と被らない職業」、この2つで す。これから仕事をしていく上でモチベーション を上げることが何よりも重要だと考えました。給 与が比較的高ければモチベーションを落とすこと はないだろうし、身内と同じ職業は劣等感を抱き そうで避けたかったという気持ちもあり、この2 つを基準にして選んだところ残ったのが診療放射 線技師でした。非常に不純な動機ではありますが、 このような経緯で私は診療放射線技師になるため の道に進み2年前に技師としての人生を歩み始め



佐々木家家系図

ました。技師になってからすぐは、とにかく早く 仕事を覚えて周りの先輩方や他職種のスタッフに 迷惑をかけないようにしようと思いルーチンを覚 える日々が続きました。忙しく大変だと思う反面、 新たな知識や技術を習得することに喜びを感じ仕 事に対して楽しいと思うこともありました。また 楽しいと感じると同時に今まで聞いたことなかっ たような疾患名やその疾患によって撮影法が随時 変わることについて疑問に思うことが多くなり、 もっと知りたいと思うようになりました。それか らはルーチン通りに行っていた検査もこの患者さ んはどのような疾患を持っていて、なぜこの検査 が必要で、この撮影法なのかというところまで考 えると奥が深く興味深いことばかりでした。技師 の仕事は医師からの依頼に対してその依頼通りに 撮影することが基本だとは思いますが、ある程度の読影力も必要であると思います。私はまだ、画像を見てすぐにどこに何の疾患があるのか判断できるほどの知識はありませんが、救急時に医師のサポートができるくらいの読影力はつけておくべきだと考えています。現在は可能な限り多くの画像を見て読影の勉強に力を入れています。

自分の人生から逃げ続けて偶然知り、奇跡的になれた診療放射線技師という職業でしたが、毎日が刺激的で楽しいことが多く、技師という職業を選んだことは間違いではなかったと感じています。 今は周りのレベルについていくのがやっとですが、これからの目標としては疾患名に詳しく、読影を得意とする診療放射線技師を目指したいと思います。

思い描いた技師像について

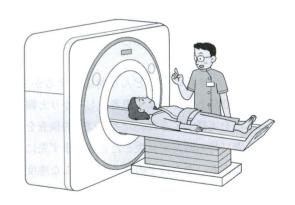
沼津市立病院 一杉 光俊

私がこの企画をいただいて、思い描いた技師像 を理想の技師像として考えてみた。

高い専門性や技術、医師や看護師そのほかのスタッフとも円滑なコミュニケーション、もちろん診療放射線技師として患者の被ばくや医療従事者の職業被ばくに対しても精通していて、患者の不安や痛みを理解し、検査を少しでもリラックスした状態で受けることが出来るように配慮する。あげてみればきりがない。

今まで多くの時間を日々の業務に費やし、それなりに頑張ってきたと自分では思っているが、「自分は何を思い描いて仕事をしてきたのだろうか?」と自分自身に問いかけると、わからなくなってしまった。

恥ずかしながらネット検索をしばらく繰り返し



ながら、日々の業務で心掛けていること、やって きたことなど整理して考えていき「患者に寄り 添った診療放射線技師」これが自分にとって思い 描いた技師像として話を進めたいと決めた。

患者に寄り添った診療放射線技師とは、単に技 術的な業務をこなすだけでなく、患者一人一人の 気持ちや不安に寄り添い、安心感を提供できる医 療従事者だと思う。

診療放射線技師という仕事を紹介してくれたの は高校の恩師だった。私が中学生のころから、父 が肝臓を悪くし家族で不安な日々を過ごしていて、何かあった時に家族のそばにいて力になれる存在でありたいという気持ちはあった。医療従事者としての診療放射線技師という仕事を調べるうちに、患者の診断や治療のサポートし、医療現場で重要な役割を担うことや、技術や知識を生かし、患者やその家族の力になれる仕事の内容に魅力を感じ、家族を大切にしたい自分の気持ちが後押しになり、診療放射線技師になることを決意した。

患者に寄り添う診療放射線技師は、常に患者の不安に気づき、丁寧に説明しながら安心感を与え、体調や心の状態に配慮し、共感とやさしさをもって対応すること。もちろんそれらを実践する技術的なことも充実していなければならず決して簡単ではない。さらに日常の業務では多くの患者に対応しなければならず時間的制約を受け自分の心の葛藤も多くある。

最近では、椎間板ヘルニアや労作時狭心症など 自分自身が患者となる経験もあり、体調が万全で ないなか自分だったらどうしてほしいのかと考え るようになっていった。

「限られた時間の中でどんな対応をするか?」個人的な意見として、まず患者をしっかりと観察することを実践してきた。たとえば予約検査を担当する際に待ち時間が発生したとき、まず先にその旨を伝える、さらにその様子からどんな態度をこちらに示してくれることにより、出来る限りの正確な時間を伝えるなど臨機応変に対応してきた。患者対応に失敗することで不快な思いをさせたこともあったが、積極的に声掛けすることを基本に業務をこなしてきた。「ありがとう、こちらの技師さんで良かった」こんな言葉を励みにがんばってきたと感じている。

そして、言葉遣いも重要なポイントとして長い 時間気をつけてきた。

診療放射線技師に限らず、すべての医療従事者 にとって非常に重要で適切な言葉遣いは、患者と の信頼関係を築き、不安を和らげる効果も期待で きる。

すべてにおいてうまくはできていないが、でき るだけ患者がリラックスできるようゆっくりと親 しみやすい言葉を選んできた。「大丈夫ですよ、 安心して下さいしなどわかりやすく丁寧に。「体 の痛い所はないですか?ここ触っても良いです か?」など相手に配慮した声掛けも行う。患者が 車いすで付き添いの方がいる時は、引き継ぐ時に はできるだけ患者さんが痛がっている所や触って 痛がる所を聞くようにしている。こちらに合わせ て付き添いの方も柔らかい口調になりこたえてく れることが多いと感じている。院内ではマスクに よって顔が隠れてしまっていることが日常だが、 笑顔と穏やかな声で話すことは忘れていない。接 遇の研修会でも「言葉遣いだけでなく、声のトー ンや表情も重要です。穏やかな声と優しい表情は、 患者の心を落ち着ける効果があり、特に検査前の 緊張感を和らげるために、リラックスした雰囲気 が大切」と言っていた。

患者対応だけでなく、後輩に対しても出来るだけ丁寧な言葉と使うよう心がけてきた。

これは同僚や後輩にむけてリスペクトの思いから であり、自己研鑽を惜しまず、技術やスキルを身 に着けている同僚や後輩は私の刺激になっている。

また、安心感を与えるための確かな技術や知識 も外せない。

放射線の機器操作や画像解析、線量管理など高度なスキルを備え、医師や他の医療スタッフと効果的に連携することが理想である。しかし、忙しい日常業務の中で研修や自己研磨の時間を確保することが難しい事や機器導入のペースが遅れ、最新技術に触れる機会が限られている技師が多いと思う。私は、最新の機器や最新技術に触れる機会が多く、自分のやる気次第で勉強会や認定資格取得なども後押ししてもらえる恵まれた環境がある。その中でも一番興味を持ったMRI撮像の知識や技術の向上を目的として、受験資格を取得した。取得するのに2年、受験に3年の計5年もかかった。

何度もやめようと思ってしまったが、先輩や他の施設の技師さんからの励ましやアドバイスにより、磁気共鳴専門技術者の資格を取ることができた。一つの事をやり遂げたことで、自分に自信を持つことができた。そして、一般撮影などの最新の技術や知識が進んでいく中で取り残されないように勉強を続け、言葉使いと同様に患者に安心してもらえるように技術や知識を向上していきたい。

最後に、まだ10年・15年と技師生活が続いてゆくが、この文章を書いていて思う事は、こんなに

技師が笑顔でいられる職場ってないような気がする。たまに、上司や後輩にからかわれたり、アドバイスをもらったりと毎日が新鮮で切磋琢磨して勉強になる日常、いろいろな苦労があったが、患者から「この技師さんで良かった、すごくMRI検査が不安で前日もあまり寝られなかったけど、安心して受けることが出来た」と言われた時などの言葉を励みに自分にとって思い描いた技師像に近づけるように続けていきたい。



沼津市立病院の皆様

佐々木さん、一杉さん、ありがとうございました。新人技師とベテラン技師のお二方に思い描く 技師像についてお話して貰いましたが、それぞれに素晴らしい思いを聞かせていただきました。

今回の企画にあたり、私のところには2年目ぐらいまでの新人技師さんへお願いしてほしいという依頼がありました。つてもなく困っていたところに佐々木さんの先輩技師から紹介していただけたのですが、有望な医療サラブレッドを紹介していただけて感謝しています。佐々木さんもその先輩技師のような立派な技師を目指してください!

ただ、その先輩技師には紹介の見返りとして少しお高いガンプラを要求されており、どうやって 踏み倒そうか思案しているところです。優秀な技師さんなのですが、飲んでも絡む困った技師さん なので私生活は見習わないようにしていただきたいものです・・・

キャリア支援委員会では、皆様が思い描く理想の技師に少しでも近づけるように今後もお手伝いをしていきます、これからもご協力をよろしくお願いします。

メッセージポード

令和6年10月現在

東部地区

◎経過報告

2024.5.17(金)

第1回幹事会開催(Web開催)

事務局「富士脳障害研究所附属病院」より配信

- ①静岡県放射線技師会報告
- ②令和6年度技場計画
- ③連絡網の整備
- ④地区だより
- ⑤第1回胃がん講習会・放射線セミナー
- ⑥ふれあい広場 (案)

2024.5.30(木)

東部地区会だよりvol.1発行・発送

2024.7.27(土)

社会活動

「サイエンスワールド (たいけんブース)」 出展参加

場所:イオンモール富士宮

ブース参加者:105名



左【超音波装置で果物ゼリー内の果肉を観察】 右【糸電話をつくりながら音の性質を説明】



【サイエンスワールド出展参加技師】

2024.8.15(木)

東部地区会だよりvol.2発行メール配信

2024.8.30(金)

第2回幹事会開催

場所:富士市交流プラザ会議室3&Web配信

- ①第1回胃がん講習会・放射線セミナーリハー サル
- ②サイエンスワールド参加報告
- ③地区会会員メール集約について
- ④第2回胃がん講習会・放射線セミナー案

2024.9.14(土)

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会・ 放射線セミナー開催

会 場: 富士市交流プラザ会議室3 & Web配信

参加者:44名(会場Web合わせて)

内容:

(胃がん検診エックス線撮影従事者講習会)

座長:静岡県立静岡がんセンター

後藤 弘徳 会員

会員発表 「当院の消化管検査について」

NTT東日本伊豆病院 中西 健至 会員 会員発表 「当院の胃がん検診の現状」

伊豆保健医療センター 中島 聡記 会員 教育講演 「胃がん診断の温故知新」 静岡県立静岡がんセンター

内視鏡科医長 吉田 将雄 医師

(放射線セミナー)

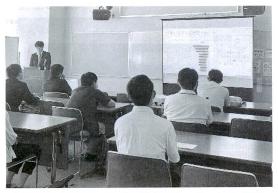
座長:富士脳障害研究所附属病院

牛場 克明 会員

会員講演 「能登半島地震災害DMATの経験」 富士宮市立病院 嶋崎 龍洋 会員

教育講演 「災害支援認定診療放射線技師に ついて」

> 川崎市健康福祉局保健医療政策部 (川崎市立川崎病院) 小野 欽也 技師



【県立静岡がんセンター内視鏡科医長 吉田 将雄 医師】



【講演スライドより能登半島地震災害DMAT 嶋崎 会員】



【講演スライドより能登半島地震災害DMAT活動】



【川崎市健康福祉局保健医療政策部 小野 欽也 技師】

◎行事予定

2024.10 第 3 回幹事会開催予定

2025.1.25 第2回胃がん検診エックス線撮影従事

者講習会・放射線セミナー開催予定

中部地区

◎経過報告

2024年7月~9月まで実施された行事

8月23日(金) 18:00~

令和6年度第3回中部地区幹事会

(技師会事務所)

参加者9名

9月8日開催の静岡ふれあい広場および9月 28日開催の2024年度第1回胃がん検診エックス 線撮影従事者講習会/放射線セミナーについて 役割分担や当日スケジュール等を話し合いました。

9月8日(日)

第42回静岡ふれあい広場

(静岡市社会福祉協議会主催)

静岡市青葉シンボルロードにて開催された第42回静岡ふれあい広場にブースを出展しました。 出展内容としては骨密度(QUS)測定体験と 診療放射線技師の仕事に関するパネル展示を行いました。当日は天気も良く、気温30度を超え





る過酷な条件の中行われました。ブースを訪れた方は101名、このうち骨密度の体験をされた方は69名でした。子どもからお年寄り、障がいのある方々など、たくさんの方々に診療放射線技師について知ってもらえたと思います。

9月28日(土) 14:00~16:00

2024年度第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会/放射線セミナー

zoomによるweb配信

・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会 特別講演「胃がんの検査と治療(内視鏡を中 心として)」

静岡県立総合病院

消化器センター長 消化器内科部長

大野 和也 先生



・放射線セミナー

施設発表①「胃がん検診施設の人材育成について」

聖隷健康サポートセンターShizuoka 放射線課 野沢 滋幸 会員



施設発表②「胃がん精査施設の人材育成について」

静岡県立総合病院 放射線技術室 杉浦 靖幸 会員



2024年度第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会/放射線セミナーをzoomによるweb配信を行いました。事前登録では東北から九州まで148名の参加登録があり、実際に参加したのは99名でした。今回は胃がんの内視鏡診断と治療について特別講演をお願いし、人材育成をテーマとして検診施設と精査施設の立場から講演をおねがいしました。内視鏡診断の治療の最前線を知ることができ、胃のエックス線検査の役割について考えさせられる内容でした。また、人材育成についてはラダー制度に則った教育や胃エックス線検査の教育の難しさを感じました。

◎行事予定

10月26日(土)~27日(日) メディメッセージ2024 静岡ツインメッセ

2月 第2回胃がん検診エックス線撮影従事者講習会/放射線セミナー

西部地区

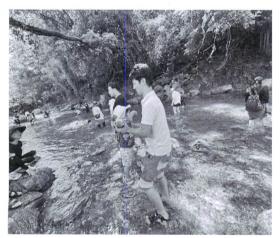
◎経過報告

●第1回レクリエーション報告

一バーベキュー&あゆのつかみ取り一

ここ数年、コロナの影響により、西部地区会 レクリエーションとしてイベントの開催ができ ず、対面での活動というものができない状況が 続いていました。

今年度の地区会は会員の顔を見れる機会を増やす運用を目標にしている中で最初のレクリエーションが開催されました。コロナの影響もあり不安もありましたが、「竜ヶ岩洞あゆのつかみ取り園」が存続している事を確認し、約8年ぶりにバーベキュー&あゆのつかみ取りを企画し、大人69名、子供39名の計108名という大





勢のご参加を頂き、盛大に行なうことができま した。

100人規模の開催は、過去最大人数となり、 準備等々かなり不安だらけではありましたが、 当日を含め西部地区会レクリエーションのメン バーが中心となり、有志の技師もお手伝いして もらう等、違う病院間でのつながりができたこ とが、何よりも大きな成果だと思います。あゆ をつかもうとする子供や会員の真剣な顔、焼肉 を囲む会員の楽そうな顔が見れて大変に満足で きるレクレーションでありました。

西部地区会では年間2回のレクリエーションを行なう予定であり、その都度多くの参加、交流ができることを楽しみにしています。いつでも大歓迎ですので、地区会員になられていない方は、イベントだけでもいいので多くの加入をお待ちしております。



●第1回西部地区会誌「西部TIPS」9月末発行

◎行事予定

●令和6年度第1回西部地区会勉強会

日時: 令和6年10月19日(土) 13:30~16:40

場所: コングレスセンター 22. 23会議室

講演1 静岡県立静岡がんセンター

画像診察室 伊東孝宏先生

被ばく管理について

講演2 浜松ろうさい病院

中央放射線部 佐藤 慎祐 先生

胃の撮影方法について

講演3 浜松医科大学

周術期生活機能支援学講座

平松良浩先生

胃のセンチネル手術・胃の低侵襲手術・ 肥満減量代謝改善外科治療について

共催:バイエル薬品株式会社

● 令和 6 年度第 2 回西部地区会レクリエーション ボーリング大会

開始予定期間:令和6年11月29日(金)

●第2回西部地区会誌「西部TIPS」

1月末発行予定

●令和6年度第2回西部地区会勉強会&総会

日時: 令和7年3月予定 13:45~17:00

場所:未定

胃がん従事者講習会、放射線セミナー各1演題

予定

勉強会後総会

●第3回西部地区会誌「西部TIPS」

3月末発行予定

本会の歩み

(令和6年6月1日~令和6年9月30日)

R 6 / 6 / 13

第5回常任理事会(静岡県放射線技師会事務所) 高橋 平入 天野 小林 野末 中本 三浦 鈴木 澤根 吉野 上棚

協議事項

- ・総会の振り返り
- ・今後の事業について
- · 企画申請書、報告書
- ・ その他

R 6 / 6 / 25

編集委員会初校

吉野 三浦 常盤 福地 澤口 三輪

R 6 / 6 / 22

令和6年度第1回告示研修(実技研修)

静岡県立総合病院 46名

R 6 / 6 / 23

令和6年度第2回告示研修(実技研修)

静岡県立総合病院 45名

R 6 / 6 / 27

第6回常任理事会(Web)

R6/7/9

編集委員会二校

吉野 三浦 常盤 福地 澤口 三輪

R 6 / 7 / 11

第7回常任理事会(静岡県放射線技師会事務所) 高橋 平入 天野 小林 野末 中本 三浦 鈴木(啓) 澤根 吉野 上棚

協議事項

- · 連絡事項
- ・今後の事業について
- · 企画申請書、報告書
- ・ その他

R 6 / 7 / 13

第53回放射線技師のためのセミナー 静岡市立静岡病院 会場+Web · 企業講演

「RI法改正の概要と情報提供」

長瀬ランダウア株式会社

· 会員発表

「主任者業務の紹介」

順天堂大学医学部附属静岡病院

小野 直人 会員

「予防規定改革の経験」

藤枝市立総合病院

河井 淑裕 会員

「放射線MSの取り組み」

聖隷三方原病院

鈴木 千秋 会員

· 特別講演

「放射線被ばく管理に関するマネジメントシステム(放射線MS)の紹介と今後の展望」 帝京大学 医療技術学部診療放射線科 教授 日本診療放射線技師会 副会長

富田 博信 先生

R 6 / 7 /25

第8回常任理事会(Web)

R 6 / 7 / 26

ジャーナルVol.34 No.1 2024(通巻220号) 発行 吉野 三浦 常盤 福地 澤口 三輪 天野 野末 中本 鈴木(啓)

R 6 / 7 / 27

サイエンスワールド(たいけんブース)

イオンモール富士宮

主催:富士宮市教育委員会 静岡県放射線技師会東部地区会としての社会活

動に貢献

参加者 105名

R 6 / 7 /27

令和6年度第3回告示研修(実技研修)

静岡県立総合病院 47名

R 6 / 7 / 28

令和6年度第3回告示研修(実技研修)

静岡県立総合病院 44名

R6/8/8

第9回常任理事会(静岡県放射線技師会事務所) 高橋 平入 天野 小林 野末 中本 三浦 鈴木(啓) 澤根 吉野 上棚

協議事項

- ・東海四県診療放射線技師学術大会(2025/2/16) の会員発表及びシンポジストの選出
- · 秋季公開講演(11/23)
- · 新春公開講演会(2025/1/11)
- · 企画申請書、報告書
- ・第2回理事会の議題について
- ・その他

R 6 / 8 / 22

第10回常仟理事会(Web)

R 6 / 8 / 24

第2回理事会(静岡県放射線技師会事務所+Web)

高橋 平入 天野 小林 野末 中本 三浦 鈴木(啓) 澤根 吉野 上棚 澤根 牛場 寺田 鈴木(康) 島崎 斎藤 和田 山本

- 1. 会長報告
- 2. 報告事項
- ·会長報告
- ·副会長報告(委員会報告、会務報告、部会報告)
- · 常任理事報告
- ·地区選出理事報告(東部、中部、西部)
- ·常設委員会理事報告(学術、企画調査)
- · 監事
- ·事務職員
- 3. 協議事項 秋季公開講演会について 新春公開講演会及びアール祭に ついて その他

R6/9/8

第42回ふれあい広場

主催:静岡県社会福祉協議会 ブース来場者101名 骨密度測定体験69名

R6/9/8

フレッシャーズセミナー

静岡県放射線技師会事務所 参加者 13名

- ・エチケット・マナー、医療コミュニケーション
- · 医療安全講座
- ·感染対策講座
- ・被ばく低減講座

R6/9/8

西部地区 第1回リクレーション

大人69名、子供39名

"バーベキュー&あゆのつかみ取り"

竜ヶ岩洞あゆのつかみ取り園

R 6 / 9 / 12

第11回常任理事会(静岡県放射線技師会事務) 高橋 平入 天野 小林 野末 中本 三浦 鈴木(啓) 澤根 吉野 上棚

協議事項

- ・メディメッセージ2024in Shizuoka (10/26~27: ツインメッセ)について
- ・秋季公開講演(11/23)について
- ・新春公開講演会及びアール祭(2025/1/14)に ついて
- ・第16回中部放射線放射線医療技術学術大会 (2024/12/8)のシンポジストの選出について
 - · 企画申請書、報告書
- ・その他

R 6 / 9 / 14

東部地区 第1回胃がん検診エックス線撮影従 事者講習会

> 富士市交流プラザ会議室 参加者44名(会場22名、web22名)

会員発表

「当院の胃がん検診の現状」

伊豆保健医療センター 中島 聡記 会員 「当院の消化管検査について」

NTT東日本伊豆病院 中西 健至 会員

「胃がん診断の温故知新」 静岡県立静岡がんセンター 内視鏡科 医長 吉田 将雄 先生

R 6 / 9 / 14

第40回乳腺部会研修会

場所:聖隷三方原病院

参加者30名(会員24名、非会員6名)

· 企業講演

「トモシンセシスは次のステージへ」 シーメンスヘルスケア 田中 京子 様

講演

「美しく読む「FAD」- 陰影の真実を見抜こう-」 聖隷予防検診センター 諏訪 香 先生 「美しく撮る「FAD」-そのFAD、本当にFAD?-」 聖隷三方原病院 中村 洋子 会員

R 6 / 9 / 26

第12回常任理事会(Web)

R6/9/28

中部地区 第1回胃がん検診エックス線撮影従 事者講習会/放射線セミナー(Web)

参加者99名

· 特別講演

「胃がんの検査と治療(内視鏡を中心として)」 静岡県立総合病院 消化器センター長 消化器内科部長 大野 和也 先生

·施設発表

「胃がん検診施設の人材育成について」 聖隷健康サポートセンターShizuoka放射線課 野沢 滋幸 会員

「胃がん精査施設の人材育成について」 静岡県立総合病院 放射線技術室

杉浦 靖 会員



- 6/4 東京放射線 2024年6月号 Vol.71 No.828
- 6/4 埼玉放射線 2024 No.2 埼玉県診療放射線技師会
- 6/4 兵庫県放射線技師会 会誌2024.6.1 Vol.84-1
- 6/7 京放技ニュース (京都府診療放射線技師 会) 6/2024 通算769号
- 6/7 京都府診療放射線技師会 令和5年度 年報
- 6/10 大放技会報 No.356 大阪府診療放射線技師会 (5月31日発行)
- 6/10 福島放技ニュース 2024 5月31日号
 - 6/24 福岡県診療放射線技師会 会誌 第356号 2024.6.20
 - 7/2 東京放射線 2024年7·8月号 Vol.71 No.829
 - 7/4 京放技ニュース(京都府診療放射線技師 会) 7/2024 通算770号
 - 7/8 放射線 やまぐち 2024 Vol.300 山口県診療放射線技師会
 - 7/29 埼玉放射線 2024 No.3 埼玉県診療放射線技師会
 - 8/1 かながわ放射線だより Vol.77 No.2 Jul.2024 311
 - 8/1 大放技会報 No.357 大阪府診療放射線技師会 (7月31日発行)
 - 8/2 福島放技ニュース 2024 7月26日号
 - 8/6 京放技ニュース(京都府診療放射線技師会) 8/2024 通算771号
 - 8/13 大分放射線 第136号 July 2024
 - 8/13 山梨放射線 No.45 2023.4 山梨県診療放射線技師会
 - 8/13 山梨放射線 No.46 2024.4 山梨県診療放射線技師会
 - 8/13 山放技ニュース 2022.11 山梨県診療放射線技師会

- 8/13 山放技ニュース 2023.3 山梨県診療放射線技師会
- 8/13 山放技ニュース 2023.11 山梨県診療放射線技師会
- 8/13 山放技ニュース 2024.3 山梨県診療放射線技師会
- 8/13 山梨県診療放射線技師会 70周年記念誌
- 8/13 2023年度 関東甲信越診療放射線技師学 術大会 YAMANASI
- 9/3 栃木県診療放射線技師会 情報誌「あすたーと」 2024 May Vol.55
- 9/4 東京放射線 2024年9月号 Vol.71 No.830
- 9/9 富山県診療放射線技師会 会報 Vol.106 2024
- 9 / 17 岐阜県診療放射線技師会 第102巻 通号138号
- 9 / 24 MART会報 102 宮城県放射線技師会 2024.9.Vol.136

^{令和6年度} 第2回 理事会 議事録

2. 技師会事務所+WEB会議

3. 出席者(敬称略)

高橋 真、平入 哲也、天野 守計
小林 秀行、野末 恭弘、中本 伊織
三浦 篤、鈴木 啓洋、吉野 将史
上棚 稔之、澤根 隆文、牛場 克明
寺田 理希、鈴木 康太、嶋崎 龍洋
斎藤 忍

和田 健(顧問)、山本 英雄(顧問)

欠席者

中村 元哉、佐野 祐二

1. 会長挨拶

髙橋会長

それでは令和6年第2回理事会を開催します。 会に先立ちまして、技師会事務 竹永さんが今回 家庭の事情で9月いっぱいで退職ということがあ りました。それに伴い、急遽今月頭に3名ほど面 談をさせてもらい、今回小林香奈子さんという方 を採用させていただきました。本日、お越しいた だいたのでご挨拶をお願いします。

小林事務

医療関係の仕事は初めてです。不安もあります けど、一生懸命頑張りますので何かとよろしくお 願いします。

髙橋会長

事務員さんは1年契約なので、本日契約をさせ

ていただいて9月1日から来年の8月31日までの 一年契約ということで、毎年契約をしていただく 形になります。長く勤めていただきたいと思いま すので、よろしくお願いいたします。

2. 報告事項

I. 会長報告

それでは定款第6章の第34条に従いまして、会 長の高橋が議長を務めさせていただきます。

議事録につきましては、総務庶務の中本理事に お願いをいたします。発言者以外はマイクをオフ にしてください。

JART報告

・6/15開催の第87回定時総会において第一号議 案【会費等納入規程改正(案)】が承認された。 技師免許取得後の初年度年会費(5,000円)が、 令和7年4月1日より無料となる(技師籍登録 初年度入会金は従前より無料です)

技師免許取得後学卒での大学院進学者で、 JART事務局に所定の書式で届け出をされた方 は、翌年度より年会費は5,000円に減免される。

- ・会員からの退会申請に速やかに応じるため、 JARTIS会員ページ内に「退会ボタン」を作成 する。
- ・7/14 全国地域連絡協議会開催 中村登紀子理事の大会退任が報告されました。 8月より今の病院を退職、厚生労働省に出向し ています。放射線技師と厚生労働省とのパイプ を作っていく上でも活躍を願っています。
- ・災害対策委員会から、各県の記録的豪雨状況に ついての報告依頼がきています。

会員の動向、家屋の状況等々の情報共有を行っていますが、特に東中西の組織理事の皆さんにはその地区の会員の動向をなるべく早めに収集していただき、静放技にいただけるとそれを日放技に渡せるのでご協力をお願いしたい。

・告示研修へのアンケートの参加をお願いします。

- ・JART主催の基礎講習は、今年度よりすべてe ラーニングとなる(現地開催はなくなります)
- ・検査説明動画、検査説明書、放射線検査説明に 関するガイドライン、放射線検査Q&A
- ・告示研修 2023年度の実績として、2万2714名が 終了。学生向け告示研修、静岡は8月中に行う。
- ・会費未納による会員資格喪失者(除籍)に対す る債権回収対象者について(別紙)県内3名

中日本報告

- ·三重県会長交代 界外会長→武藤 裕衣新会長
- ·富山県会長交代 石浦会長→澤木 福光新会長
- ・第16回CCRT(岐阜県)ホームページ開設 URL:https://gifuart.org/ccrt2024/ 演題募集 7/15~9/15
- ・東海四県診療放射線技師学術大会について (2025/2/16) 岐阜県技師会長より、会員発 表・シンポジウム各1名

演者選出の依頼 (後程小林副会長より報告)

・レントゲン週間事業の補助金申請 4県(静岡、 石川、福井、三重)2.5万円/1県

会長報告

- ・5/6 かみかわ陽子国政報告会に出席 静岡県知事選 大村慎一 候補推薦について日本 診療放射線技師会連盟より推薦状を送りしたと の連絡。静岡県技師会からも推薦状を送った。
- · 5/13 福島県立医科大学 医学部 放射線災害 医療学講座主任教授 長谷川様とweb面談(高 橋、平入副会長)

原子力災害に関する調査研究アンケートの依頼 について(別紙)

- ・6/21 静岡県看護協会総会に参加
- ・6/30 公益法人の登記完了
- ・7/2 部会長会議出席
- · 7/14 全国地域連絡協議会出席
- ・7/19 静岡社会健康医学大学院大学教授との面会
- ・7/19 事務所に被ばく相談の電話があり、管

- 理士部会千葉会長へ対応を依頼。(後程小林副会長より報告)
- ・7/29 令和6年度男女共同参画社会づくりに 関する知事褒賞 疋野会員が県庁での受賞式に て受賞された。
- ・8/1 レントゲン週間事業の申請を行った (メディメッセージ2024)
- ・8/2 沼津警察署より電話相談があり対応した。
- ・8/5 かみかわ陽子国政報告会に出席(高橋、 三浦理事)
- ・8/8 事務職員採用面接(3名)の実施(高橋、清水さん)

9/30付で事務局の竹永さんが退職。後任はハローワークを通じて募集し小林香奈子さんを採用。

- ・8/16 第64回静岡県病院学会への後援依頼について
- ・8/22 原子力災害時の甲状腺モニタリング検査の派遣依頼について 静岡県健康福祉部とwab会議(後程平入副会長
 - 静岡県健康福祉部とweb会議(後程平入副会長 より報告)
- ・8/27 第84回日本公衆衛生学会総会(静岡県開催)実行委委員への就任依頼の説明会参加予定
- ・9/8 フレッシャーズセミナー 技師会事務 所にて開催予定
- ・10/19~20 第5、6回告示研修 静岡医療科 学専門大学校にて開催予定
- ・10/26~27 メディメッセージ2024 in 静岡 中部地区会が担当
- ・2024年度功労表彰および永年勤続表彰(30年・50年)候補者推薦選出について表彰委員長に依頼
- ・ブラッコ・ジャパン株式会社に、賛助会員への 協力を野末理事経由で依頼。
- ・静岡県法務課より、「令和6年度 第2回公益法 人実務担当者向け研修の動画配信について」の 案内
- ・公益法人法の改正について

会長報告は以上となります。

Ⅱ. 副会長報告

東部 平入副会長

○キャリア支援委員会

第一回キャリア支援委員会会議

令和6年7月20日技師会事務所で会議を行って おります。

参加者:

後藤 琢真、後藤 英樹、中村 潤 亀垣 卓也、伊藤 光代、川口 彩子(委員長) 鈴木 恵(前委員長) 7名

今年度の取り組みとしてジャーナルの"突撃! 隣の放射線科"を続けていきたいということで、 各地区から2名を選出。11月29日のジャーナルか ら掲載をしていく予定で準備を行っています。

勉強会は2025年2月1日(WEB開催)、テーマは「教育」タスクシフト、アンガーマネジメントについて取り扱う予定。

○医療安全推進委員会

第1回医療安全推進委員会会議

令和6年7月19日技師会事務所で行われています。 参加者:

中村 英明、南澤知紗子、村松 朋紀 森田 祐介、種石 吉記、佐野 吉彦 6名 令和6年度第18回医療安全セミナーについての 話し合い

日 程:2024年12月6日(第1金曜日)19時~20時 WEB技師会事務所からの配信

テーマ: MRIの安全対策、IAを報告して頂き 情報や事例を共有する

○災害対策委員会

第1回災害対策委員会(三会合同会議)

令和6年8月2日技師会事務所で行われました。 参加者:

平入 哲也、牛場 克明、山本 博貴 近藤 大祐、千葉 和宏、勝浦 拓也 嶋崎 龍洋、山本 裕介、岡本 喬介 9名 原子力緊急時災害対策研修会(会場&ZOOM 公開)について協議 日程: 令和6年11月16日(土)・浜岡原子力発電所 内容: ZOOM公開「GM管取り扱いとスクリー ニング」講義と実習 管理士部会 ZOOM公開「浜岡原子力発電所の概要と安全 性向上対策」中部電力(株)浜岡地域事務所 浜岡原子力発電所内の見学ツアーについて

嶋崎理事 (企画調査)

○第1回 企画調査委員会会議

令和6年8月2日 技師会事務所 参加者

嶋崎 龍洋、廣澤 賢一、山本 博貴 近藤 大祐、山本 裕介、岡本 喬介

2024年度 静岡県放射線技師研修会について

開催日時:令和7年2-3月のいずれかの土曜日。会場対面型(web開催も考慮に入れる) 講演内容「人工知能技術を用いた業務効率化 (仮)」とし、企業講演3社程度に加え、実際に導入している施設より事例紹介をしていただく 予定。

放射線の業務機器の中で、人工知能というと幅が狭まる部分があるため、病院の機能や医療DXなどの話題も仕入れて広げていく。9月中を目処にテーマを決め、講師の方を選定していきたいと思います。

東部 平入副会長

○学術委員会

2024年度 第 1 回学術委員会会議 2024年 7 月18日(木) 技師会事務所 参加者:

鈴木 康太、荻田 広大、河添 克典 澤口 信孝、鈴木 奈緒、坪内 秀生 中川 英紀、萩原 汀紗、望月 佑馬 寺田 理希 10名

1月新春公開講演会の企画(2025年1月11日あざれあ予定)

公開講演 中東遠総合医療センター 松島暁先生

救急医療、もしくは能登地震の経験をもとにし 高橋会長 小林副会長 た災害医療など

教育講演 静岡医療科学専門大学校 井田義宏先生 CTでの経験談など、教育講演として技師向け にお話しできること

災害対策委員長

原子力緊急時災害連絡網の配布 福島県立医科大学アンケート 8/31まで

中部 天野副会長

7/27 東部第22回サイエンスワールド (たいけ んブース)

9/8 第14回フレッシャーズセミナー

9/14 東部第1回胃がん検診X線撮影従事者講

習会・放射線セミナー

講師:がんセンター 吉田医師

会場:富士市交流プラザ

9/28 中部第1回胃がん検診X線撮影従事者講

習会・放射線セミナー

講師:県立総合 大野医師

会場:技師会事務所

10/19 西部第1回胃がん検診X線撮影従事者講

習会・放射線セミナー

講師:浜医 平松医師

会場:アクトシティ

11/2 令和6年度秋季公開講演会

11/16 令和6年度原子力緊急時災害対策研修会

西部 小林副会長

○部会長会議

· 令和 6 年度部会長会議

日 時:2024年7月2日(火) 18:00~20:00

場所:静岡県放射線技師会事務所

参加者:

玉田 (超音波)、松本 (MRI)、小田 (アンギオ)

安澤 (乳腺画像)、千葉 (管理士)

1:新メンバーによる自己紹介

2:各部会のスケジュール確認

3:部会費について

4:企画申請、企画報告について

5: 部会会議開催について

6:Zoomの管理について

7: クラウドビューワーについて

8:セミナー申し込み方法について

9:その他(ジャーナルの活用、会告について)

※別紙議事録参照(第7回常任理事会報告)

○管理支部会

・第53回放射線技師のためのセミナー

日 時:2024年7月13日(土)13:35~17:10

場 所:静岡市立静岡病院 西館12階 講堂

方 法:ハイブリッド開催

参加者:会員78名 非会員9名 一般3名 合計90名(会場:35名、WEB:55名)

○MRI部会

MRI部会会議

日 時:2024年4月26日(金)18:00~19:15

方 法:WEB 参加者:8名

○アンギオ部会

日 時:2024年5月17日(金) 18:30~19:30

場 所:静岡県放射線技師会事務所

参加者:6名 ○乳腺画像部会

· 乳腺画像部会会議

日 時:2024年6月9日(日)14:00~16:30

方 法:WEB配信

参加者: 4名

○副会長報告

・一般住民からの被ばく相談対応

7/19 静岡県放射線技師会事務所に電話で医 療被ばくについて相談あり

(相談者) 焼津市在住 30~40歳台? 女性

(相談①) 開業医にて胸部レントゲン撮影を実

施。異常陰影があり総合病院で精査目的に胸部 CTを施行。異常は見られなかった。相談者と 開業医のやりとりの中で、本当にCT検査が必 要なのか疑問に思うこともあった。

(相談②) 検査を受けたことによる被ばくの影響が不安。がんになってしまうのか。調べるといろいろな情報があって不安。

(相談③) 調べると不妊のことも書いてあって不安。 (相談④) CT検査を受ける際に線量を少なくしてほしいとお願いした。放射線の量も教えてもらい2.7mGyだった (mSvではない)。Svにするとどれくらいか。

管理士部会千葉部会長より電話で回答。

○第65回東海四県診療放射線技師学術大会演者選 出について

依頼内容:

①会員発表 テーマ『日常業務に役立つ!?知識 について(仮)』静岡県から「救急撮影と読 影(STAT画像)の現状について|

施設名:静岡市立静岡病院

所 属:放射線技術科 氏 名:山脇 和摩

②シンポジウム テーマ『疾患の発見から治療 まで』 静岡県には「CT検査」にて発見され た疾患について、発見から治療までの症例発 表

施設名:順天堂大学医学部附属静岡病院

所 属:放射線室 氏 名:杉山 巧也

〇日本医療マネジメント学会 第29回静岡県支部 学術集会への参加

日 時:2024年8月10日(土) 10:20~17:00

場 所:富士宮市役所7階 特大会議室

シンポジウム「ワークライフバランス働き方改革」 「診療放射線技師の告示研修(実技研修)によ るタスクシフト

静岡県放射線技師会生涯教育委員長

曽我 隆正 会員発表

以上です。

髙橋会長

続いて常任理事報告へ移ります。

Ⅲ. 常任理事報告

総務 野末理事

役員改正挨拶状作成。日放技と中日本地域 6 県 技師会送付

名刺作成配布

抄録集広告募集 10社の協力いただけた。抄録 集発送後、請求書作成送付

総務庶務 中本理事

報告はありません。

庶務一般 三浦理事

報告はありません。

庶務会員管理 鈴木理事

会員数と今年度の会費納入状況を報告致します。 会員数は、2024年8月21日時点で1090名、会費 納入率は73.4% (7月納入分まで)です。

昨年同時期の会員数は1044名、会費納入率は 69.9% (7月納入分まで)でした。

会員数は46名増加。納入率は、昨年度よりも若 干高い状況です。

年会費納入は、規定によりその当該会計年度の 9月末日となっていますので、お近くに未納の方 がいらっしゃいましたら期間内に納入頂きますよ う呼びかけをお願いいたします。

昨年同様に会費未納者リストを副会長宛にメールしますので各地区で呼びかけお願いいたします。

会計 澤根理事

5/30 各地区会へ20万円振込。

7/19 部会活動費8万円を各部会へ振込。

編集 吉野理事

- ○静岡ジャーナル vol.34 No.1 2024通巻220号 1173部発行しました。
- ○第28回学術大会抄録集1113部発行しました。
- ○連絡事項

静岡ジャーナル vol.34 No.2 2024 通巻221号 作業予定

- ・10/22 (火) 原稿締め切り
- ·10/29(火)編集委員会(初校)
- ·11/12 (火) 編集委員会 (2校)
- ・11/29 (金) ジャーナル発行 (発送作業)

広報 上棚理事

広報からは主にホームページがメインです。先 ほど会長がおっしゃっていた調査研究のご依頼を トップに掲載していますので、ここをリンクとし て皆さんに使っていただけたらと思います。

『調査研究への協力のお願いの掲載』

調査研究「原子力災害医療研修が診療放射線技師に与えた影響・効果の評価〜知識・技術・意識の観点から〜」について、貴会員の皆様からご協力をいただきたくお願い申し上げます。(福島県立医科大学 医学部 放射線災害医療学講座 主任教授 長谷川有史)

詳しい案内 https://shizuhogi.jp/pdf/2024/kaikoku2024-11.pdf

○HPへの催事掲載現状報告

[09/07 会場]

「第83回 超音波部会研修会」のお知らせ

[09/08 会場]

「第14回 フレッシャーズセミナー」のお知らせ

[09/08 会場]

「第42回 静岡ふれあい広場」のお知らせ

[09/28 Web開催]

「中部地区会 第1回胃がん検診エックス線撮影 従事者講習会・放射線セミナー」のお知らせ [10/19 会場] 「令和6年度 第5回告示研修(実技研修)」のお 知らせ

「10/20 会場]

「令和6年度 第6回告示研修(実技研修)」のお 知らせ

[10/26 会場+Web開催]

「第19回 静岡県MRI技術研究会」のお知らせ

[10/31 会場+オンデマンド配信]

「第1回 日本放射線医療技術学術大会(沖縄県)」のお知らせ

[11/02 会場+Web開催]

「令和6年度 秋季公開講演会(県民公開講座)」 のお知らせ

[11/09 Web開催]

「第59回 アンギオ部会研修会」のお知らせ

[11/16 会場+Web開催]

「令和6年度 原子力緊急時災害対策研修会 (ZOOM公開)」のお知らせ

「12/7-8 会場+Web開催]

「第16回 中部放射線医療技術学術大会(CCRT)」 のお知らせ

○その他、各講演会、研修会のチラシ作成、掲載 ○静岡県放射線技師会最古のJARNAL (1968年 9月発刊)

○求人情報の現状報告

医療、検診施設に周知いただけるように広報活動を行っております。担当の方からメールを多くいただくので、県内技師の就職につながっていると感じています。

○『放射線被ばく管理に関する労働安全衛生MS 導入支援事業』

ホームページ掲載申請承認書に関する手続き ※公益財団法人原子力安全技術センター企画総務部

○技師会に関する会議方法の検討

会務をやりやすく、楽になるように方策を考え ています。皆さんにもご協力いただけたらと思い ます。

○セミナー申請に関する資料の作成

テンプレートを作成し、統一化した方が良いというところがあればご意見いただいて、少しずつ良くしていけたらと思っています。

○議事録作成への動画共有などの施策(継続案件)

現在、庶務一般三浦理事のご協力で音声を録り、 議事録の文字起こしを行う形をとっています。試 験的に二か月ほど行ってみて、実際個人で録った 音声から起こすよりも、はるかに楽でした。デバ イスは今後技師会で用意をし、理事会でも使用で きたらと思っています。

○事務局への書類提出方法

事務局への負担軽減が目的。考えたら共有しますのでご協力をお願いします。

髙橋会長

今Teamsで行っているこの会議ですが、現在 常任理事会ではZoomに変更しています。共有 ファイルも一つにすることで、動きが悪いとか入 りにくいといった点が改善されます。今後理事会 もZoomに切り替えて行っていくことをご協力く ださい。

以上で常任理事報告を終わります。

次に、地区選出理事からの報告に移ります。

IV. 地区選出理事報告

東部 牛場組織理事

○活動報告

2024.5.17(金)

第1回幹事会開催 (Web開催)

2024.5.30(木)

東部地区会だよりvol.1発行・発送

 $2024.7.27(\pm)$

社会活動「サイエンスワールド (たいけんブース) | 出展参加

日 時:令和6年7月27日(土) 10:00~15:00

場 所:イオンモール富士宮

参加者:105名(大人46名、小学生以下59名)

○今後の予定

2024.8.30

第2回幹事会開催予定

東部地区会だよりvol.2発行・発送予定

2024.9.14(+)

第1回胃がん検診エックス線撮影従事者講習 会・放射線セミナー開催

会場:Web講習会(発信:富士市交流プラザ会 議室3)

2024.10

第3回幹事会開催予定

中部 中村組織理事 (報告代理:髙橋会長)

令和6年5月31日(金)

令和6年度第2回中部地区幹事会開催(Zoomにて) 今年度の事業について打ち合わせ。

- ・胃がん検診エックス線撮影従事者講習会放射線 セミナー
- · ふれあい広場
- ・メディメッセージ
- ・中部地区会レクリエーション
- ・地区会費集金について

令和6年6月17日(月) に静岡県立総合病院に てメディメッセージについて、主催者の株式会社 協和医科器械と打ち合わせを行いました。

8月に中部地区会ニュースを発行しました。

○今後の予定

- ・8/24 中部地区会幹事会(技師会事務所)
- ・9/8 静岡市社会福祉協議会 ふれあい広場 出展
- ・9/28 令和6年度第1回胃がん検診エックス 線撮影従事者講習会放射線セミナー(ZOOM)
- ・10/26~27 メディメッセージ出展(静岡ツインメッセ)

出展内容はパネル展示(前回と同内容)、CT ワークステーション体験、ポータブルX線撮影装 置走行体験など

西部 寺田組織理事

報告としては7月26日に幹事会、胃がん研修会の打ち合わせという形で行っております。

○今後の予定

9/8 レクリエーション開催予定

10/19 令和6年度 静岡県放射線技師会西部 地区会

第一回胃がん検診X線撮影従事者研修会・放射線セミナー開催(13:30~16:40)

会場:アクトシティ浜松コングレスセンター 22・23会議室

V.常設委員会理事報告

鈴木学術理事

7/18 2024年度第1回学術委員会

(18時00分~19時35分)

寺田前委員長から引き継ぎ報告として学術委員 会の役割についての説明がなされた。委員長の鈴 木から、令和6年度の活動計画について説明を 行った。そのあと、今会議のメイン議事内容であ る新春公開講演会の内容検討を行った。

嶋崎企画調査理事

東部副会長報告で報告済。

VI.監事報告

斎藤 監事

監事から報告なし。

乳腺の委託事業に関して、引き続き実行委員の 事務局として、委託事業の計画の方は私の方で担 当させていただきます。昨年報告させていただい たように、近年乳がん検診の動向に沿った形で委 託内容を変更するということもありましたので、 今作り直しているところと連絡がありました。ま た後日、契約書が送られてくるという段取りにな るかと思います。

また詳細決定次第報告します。

VII. 事務報告

報告なし。

3. 協議事項

髙橋会長

次に協議事項に移ります。

秋季公開講演会についてお願いします。

天野副会長 (中部)

静岡県民のがん検診受診率向上、肺がんに対する正しい知識の普及

令和6年11月2日(土曜日):13:30~16:30 Hybrid開催(静岡県産業経済会館 大会議室 +Web配信)

県民全般·診療放射線技師

13:30~

受付

13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00

『肺がん 胸部X線動態撮影の現状』(30分)

藤枝市立総合病院 放射線科 大川 剛史会員 『肺がん 肺がんにおける放射線の変遷(過去 から未来へ)』(30分)

静岡県立総合病院 放射線技術室

杉本 賢吾会員

15:10~16:10公開講演

『肺がん 検診から最新の手術まで(仮)』

藤枝市立総合病院 呼吸器外科部長

江間 俊哉先生

支出がおおむね19万。

ポスター下のQRからホームページへ入っていただき、ここから登録をしていただく。期日が10月1日から11月1日の間でwebの申し込み期間とさせていただきます。今回こういうポスターを使わせていただいたのですが、これを各県のところに出したいと考えています。残りがあと2000あります。今考えているのはあざれあとか県の事業のところに配布をしていただければと考えています。それ以外で何か、こういうところに配布した方が

いいよというご意見がありましたら、私の方へ 言っていただければ、そこからまたその辺りにつ いて聞いていきたいと思います。

次回常任理事会で図面と役割分担を明記していく。

髙橋会長

参加できる方には参加いただいて、ポスターも 是非皆さん協力して配布をお願いします。

学術鈴木理事

新春公開講演会内容 (案)

【日時】 2025年1月11日(土) 13:30~16:30

【会場】 静岡県男女共同参画センター 「あざれあ」 2 階大会議室

静岡市駿河区馬淵1丁目17-1

【内容】

13:30 受付

13:55~14:00 会長挨拶

14:00~15:00 公開講演

タイトル未定

内容:救急医療や災害医療に関する内容

講師:中東遠総合医療センター

松島 暁先生

座長:静岡県立総合病院

中川 英紀会員

15:00~15:10 休憩

15:10~16:10 教育講演

タイトル未定

内容: CT関連など、技師向けの教育的内容で

依頼

講師:静岡医療科学専門大学校 医学放射線学

科アドバイザー 井田 義宏先生

座長:富士市立中央病院 澤口 信孝会員

委員会の中でも色々意見はありましたが、昨年、この新春公開講演会で予定されていたんですが1月の能登地震でそちらに行かれるということで、急遽やむなく中止をした中東遠総合医療センター松島先生に再度お話を伺いたいという意見がたく

さんありました。先生の方にも一応内諾いただきまして、内容としましては、昨年行う予定だったアフターコロナの救急医療、救急医療に関すること、もしくはせっかく先生が昨年能登半島地震の方にDMATとして行かれているそういった経験の中で色々一般市民、県民の方に向けてお話しできることがあればという形で先生の方に依頼はさせていただいております。まだ内容、テーマというのは先生の方が今検討していただいているところでまだご返事いただいては無いですが、一応そのような形で内諾をいただいたという形になっておりますので、講師は決まっているというところの報告となります。

髙橋会長

出来ればそのタイトルとして公開講演なので、 一般の方がすごく聞きたいと思えるような題名を 付けてもらえると興味が湧くのかなと。今後の静 岡の在り方みたいなことを、能登半島で体験した 中で先生が伝えられることがあれば嬉しいですね。

小林副会長 (西部)

タイトルはいつまでにもらう予定ですか? 次回のジャーナルには掲載したいです。

学術鈴木理事

9月には企画申請書として、提出をさせていただこうと思います。

総務 野末理事

· 令和7年新春公開講演会会場

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」 2 F 大会議室 (144人収容)

控室503会議室を予約

- *受付は会議室内後方となること、ご了承ください
- · 令和7年度R祭企画申請書提出(第9回常任理事会承認済)

R7.1.11(土) 17時から19時

(同日新春公開講演会終了後「あざれあ」より 移動)

静岡第一ホテル2階富士の間

髙橋会長

まだ確定していないところが多いですけれども、 金額に関してなど常任の中である程度決めていき たいと思います。あと記念品に何を渡すかと考え たいと思います。

会場は決まってますからね。内容も大体決まってきましたので、あとはまた役割をお知らせいた だけますか。

総務 野末理事

12月上旬にまた下見を行いたいと思います。

天野副会長 (中部)

秋季公開講演会の役割になります (別紙参照)。 依頼までのスケジュールといいますと、まだ発注 はしていませんが看板とかも作ってあります。ポ スターはもう積み上がっています。公演申請も広 報上棚理事にお願いして、そこも受理されていま すし、ジャーナル会告もしてあります。会員の受 付表は会員管理鈴木理事、進行シナリオはありま す。本日後程会場の下見に行ってきます。

天野副会長 (中部)

2024年度第42回静岡ふれあい広場参加

目的:第42回静岡ふれあい広場に参加し、県民 の健康維持増進活動を行うことにより、 公共の利益に寄与することを目的とする。

日程:2024年9月8日(日)10:00~14:00

会場:静岡市青葉シンボルロード

対象:一般市民の皆様

内容:骨密度測定 無料体験

今回、会長と中村副理事としっかりとお話を伺いまして、金額をだいぶ抑えた形にしてあるかと 思います。

髙橋会長

それでは採択を取ります。

反対: 0 · 保留: 0 · 賛成: 18

(全会一致承認)

ありがとうございます。では全会一致で賛成い たしますので、進めてください。

天野副会長 (中部)

静岡県放射線技師会西部地区会

令和6年度 第1回胃がん検診X線撮影従事者研 修会・放射線セミナー

目的:令和6年度 静岡県放射線技師会西部地区会 第一回胃がん検診X線撮影従事者研修 会・放射線セミナー開催

日程: 令和6年10月19日(土) 13:30~16:40 会場: アクトシティ浜松コングレスセンター 22:23会議室

対象: 静岡県放射線技師会西部地区会員

内容

講演 1 静岡県立静岡がんセンター 画像診察室 伊東 孝宏先生

「被ばく管理について」

講演 2 浜松ろうさい病院 中央放射線部 佐藤 慎祐先生

「胃の撮影方法について」

講演 3 浜松医科大学 周術期生活機能支援学講座 平松 良浩先生

「胃のセンチネル手術・胃の低侵襲手術・肥満 減量代謝改善外科治療

前回、打ち合わせありまして、現時点で助成金 17万8150円のある中で、講師講演料が3万円、会 議室費、交通費など支出合わせて8万500円と なったということで、残金としましては9万7650 円となって、第2回の方に持ち越したという形に なります。

髙橋会長

後程、開催時間の明記をお願いします。

それでは採択を取ります。

反対: 0 · 保留: 0 · 替成: 18

(全会一致承認)

ありがとうございます。

平入副会長 (東部)

静岡県地域医療課から連絡があり、甲状腺モニタリングについて話をしたいということで平入、 高橋会長、千葉管理士部会長、地域医療担当者3 名でWeb会議を行いました。

静岡県の原子力災害の医療体制は、原子力災害拠点病院や原子力災害医療協力機関があり、原子力災害医療協力機関には公立8病院が設定されています。今回、県の方が言ってきたのが、この原子力災害医療協力機関に静岡県の放射線技師会が入ってもらえないかいう提案でした。

役割は、住民等の被ばくや汚染に対する検査に協力する。県が主体となって行うのは避難退域時 検査と甲状腺被ばく線量モニタリング。

この原子力災害医療協力機関に入るには登録要件の1項目以上の要件を満たすこととなっているのですが、甲状腺被ばく線量モニタリングを実施することができる測定員を有し、その派遣体制を有することというのがポイントとなっています。

今回の県の提案はこの甲状腺の被ばく線量モニタリングを静岡県放射線技師会にできないかということでした。近隣の県、神奈川、富山、石川、福井、岐阜、福島、茨城、そういったところはこの原子力災害医療機関に入っていますが、静岡県は入っていない状態です。対象になる人数は13万5000人もいます。この方たちがどこに避難するかというと避難先1が浜松、山梨、愛知など西側です。南海トラフが発生した場合は避難先2長野や群馬、富山に避難するとなっています。この時に問題になるのが避難先で甲状腺のモニタリングをしないといけないということです。

我々がその業務を請け負うようになったら、県 の外へ派遣で行くようなことになるかもしれない、 またそういう体制を整えなければいけない現状です。

甲状腺の被ばく線量モニタリングの概要ですが、NaIサーベイメータを用いた簡易測定を行います。簡易測定の場所や時期ですが放射性ヨウ素吸入摂取からおおむね3週間以内(21日以内)。

静岡県の放射線技師会だけではなく、日本放射 線技師会に要員の派遣調整の依頼をする形になっ ているので全てを静岡県のみで行うというわけで はありません。

Oまとめ

- ・原子力災害医療協力機関への加入のお願い
- ・甲状腺モニタリングのお願い

定研修への旅費の負担

- ・県からの協力可能な事項
 「NaIサーベイメータの購入」
 「高度被ばく医療支援センターの甲状腺簡易測
- ・今後静岡県放射線技師会として甲状腺モニタリング要員の育成、派遣の体制作り、県内測定機

器の把握をしなければなりません。

髙橋会長

厚生労働省からの通達もあり、こういったことを放射線技師会にお願いしたいと。診療放射線技師の業務を外れた業務っていうところの重要度は増しているところではあり、できれば是非推進していきたい内容ではあるんですが、当然技師会だけではできない話で、そこに勤めている病院の施設長であったり、管理者がそれを理解していただかないと動けない。まずはそういった施設に対する体制づくりからお願いしたいと思います。

診療放射線技師の役割として重要だと考えます。 ぜひ県と一緒に取り組んで進めていこうと思い ます。

髙橋会長

それでは、他に報告事項・協議事項等無いよう

なので以上をもちまして令和6年第2回理事会を 終了します。

※議長が第2回理事会の終了を宣言したので、令和6年08月24日午後5時00分理事会を閉会。

議事録作成 中本 伊織

行事予定カレンダー (令和6年12月~令和7年3月)

12 月			令和7年 1 月			2 月				3 月		
1	日		1	水	元旦	1	土	第一回キャリア支援委員会研修会	1	土	静岡県放射線技師研修会 (未定)	
2	月		2	木		2	日		2	日		
3	火		3	金		3	月		3	月		
4	水		4	土		4	火		4	火	編集委員会(二校)	
5	木		5	日		5	水		5	水		
6	金	第18回医療安全セミナー	6	月		6	木		6	木		
7	土	第16回中部放射線医療技術 学術大会	7	火		7	金		7	金		
8	日	第16回中部放射線医療技術 学術大会	8	水		8	土	第84回 超音波部会研修会	8	土		
9	月		9	木		9	日	(仮)第2回 胃がん検診従事者 講習会/放射線セミナー (中部) ※変更の可能性あり	9	日		
10	火		10	金		10	月		10	月		
11	水		11	土	新春公開講演会 R祭	11	火	建国記念の日	11	火		
12	木		12	日		12	水		12	水		
13	金		13	月	成人の日	13	木		13	木		
14	土		14	火		14	金		14	金		
15	H		15	水		15	土	e e	15	土	第20回静岡県MRI技術研究会 (未定)	
16	月		16	木		16	日	第65回東海四県診療放射線 学術大会	16	日		
17	火		17	金		17	月		17	月		
18	水		18	土	第55回放射線技師のための セミナー・第12回放射線管理 士セミナー コラボセミナー	18	火	編集委員会(初校)	18	火		
19	木		19	日		19	水		19	水		
20	金		20	月		20	木		20	木	春分の日	
21	土		21	火		21	金		21	金	編集委員会(発送)	
22	日		22	水		22	土	第41回乳腺画像部会研修会 (予定)	22	土	第60回アンギオ部会研修会 (予定)	
23	月		23	木		23	日	天皇誕生日	23	日		
24	火		24	金		24	月	振替休日	24	月		
25	水		25	土	令和6年度第2回胃がん検診 X線撮影従事者講習会・放射 線セミナー(東部)第7回告示 研修(静岡県立総合病院)	25	火		25	火		
26	木		26	日	第8回告示研修 (静岡県立総合病院)	26	水		26	水		
27	金		27	月		27	木		27	木		
28	土		28	火		28	金		28	金		
29			29	水					29	土		
30			30	木					30	日		
31	火		31	金					31	月		

^{*} 都合により変更になる場合があります。県技師会・各地区会の広報誌もしくは静岡県技師会ホームページにてご確認ください。 * 日放技主催の生涯学習セミナー・ADセミナー等は、JARTまたはNetwork Nowをご覧下さい。

編集後記

- *今回、初めての仕切りという事で試行錯誤の連続でしたが、無事にこの号をお届けできてホッとしています。関係者の皆さんには、ここまでのサポートに深く感謝しています。本当にありがとうございました。さて、季節も秋らしくなり、少しずつ涼しさを感じられるようになりました。皆様も体調には気を付けて元気にお過ごしください。今後ともよろしくお願いいたします。 吉野
- *ここ数年、徐々にではあるのですが、腹回りのサイズが増えており、5年前にはフィットしていた ジーンズがついに収まりきらなくなってしまいました。前のボタンを閉められないのでナイロン製 の丈夫なベルトで無理やり固定していまだにはき続ける私はかなりの貧乏性なのでしょうか。

常葉

*世界的なインフレの波が日本にも押し寄せてきて、物価上昇ラッシュが止まりませんね。パチンコのラッシュはすぐに終わるのに(笑)。

最近は大好きなラーメンを自粛して節約しています。老後は悠々自適に生活して行こうと思っていましたが、このままだと老後も働かないと生活が出来なくなりそうで憂鬱です。

このインフレはいつまで続くのでしょうかね。本当にはやく終わって今までの生活に戻って欲しいですね。 福地

- *テレビを観ていますと平均寿命と健康寿命の年令差が放送されていました。男性の健康寿命は74才 程度と聞いています。現在71才、80才までは現役でいたいと思っていますが・・・。 三輪
- *夏祭りで子供が救ってきたメダカを飼育するためにやったことのない水槽を始めました。ポンプや ら濾過材やら少ないお小遣いからいろいろな物を揃えるうちに子供は興味なくなってしまい、私だ けがこだわってる状態になってしまいました。奥が深くて面白いですが、妻の目線が怖いです。

澤口

*最近、ジムに通いを始めまして、ランニングマシンに乗っております。なかなかうまい事いかないです。何とか続いておりまが、これから寒くなります。技師会共々走っていきます。 三浦

発行所: 〒420-0064 静岡市葵区本通1丁目3-5 フェリス本通り202

公益社団法人 静 岡 県 放 射 線 技 師 会

発行人 : 髙 橋 真 編集者 : 吉 野 将 史

印刷所 : 松本印刷株式会社 〒420-0054 静岡市葵区南安倍1丁目1番18号

TEL (054) 255 - 4862 FAX (054) 253 - 2309

事務所案内

執務時間:月曜日~金曜日 午前10時より午後1時まで

TEL (054) 251 - 5954

執務時間外は留守番電話にてお受けいたします。

FAX (054) 251 - 9690

URL http://shizuhogi.jp

E-mail address: info-shizuokahousya@shizuhogi.jp